ONKYO®

CD／MD チューナーアンプ

FR-X9
FR-X7
取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　Mini Disc　MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

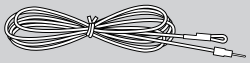
主な特長／付属品

■従来のMDの録･再時間を2倍、4倍にするMDLP搭載
■デジタル録音レベル自動設定機能、DLA Link（Digital rec Level Adjustment）搭載
■倍速編集をコアにした、多彩なCD→MDダビングモード
■CD-Rに対応するデジタル出力端子装備
■充実した外部入出力端子（アナログ入力3系統、出力2系統、サブウーファーモノ出力、デジタル１系統）
■アンプ部は厳選したパーツによるディスクリート構成
■待機時の消費電力を削減するエナジーセーブ機能
■高精度24bitプロセッシングMDデッキ
■メモリー機能付きMD録音レベル調整機能
■MDモノラル長時間録音対応
■MDネーム入力を更に快適にする カンタンネーム機能
■サンプリングレートコンバーター搭載
■FMオートプリセット可能30局メモリー搭載チューナー
■WRAT（WIDE RANGE AMP TECHNOLOGY）採用
■プロセッサー端子装備（FR-X9のみ）

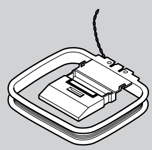
付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

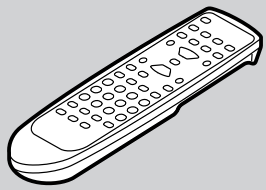
● FM室内アンテナ（1）



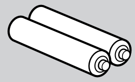
● AM室内アンテナ（1）



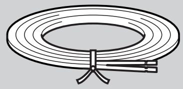
● リモコン－RC-465S（1）



● 単3乾電池（2）



● スピーカーコード（2）

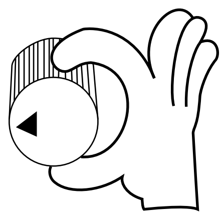


（製品名KX-F700に付属）

● 取扱説明書（本書1）
● 保証書（1）

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

目次

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

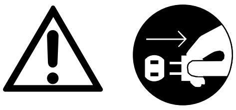




●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない


電源プラグをコンセントから抜いてください

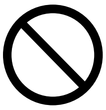
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない


分解禁止

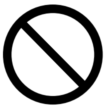
- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない



- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

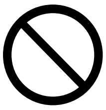


- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

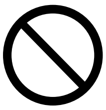

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


水ぬれ禁止

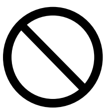
- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



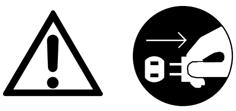
- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



- 本機の通風孔、ミニディスクの挿入口やCDトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら


電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない


接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた（つづき）

⚠警告

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- お子様がミニディスク挿入口やCDトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

⚠注意

■ 使用上の注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス−の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

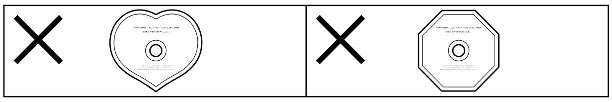
CD(コンパクトディスク)について

● 演奏上のご注意

CD(コンパクトディスク)はディスクレーベル面に右のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。

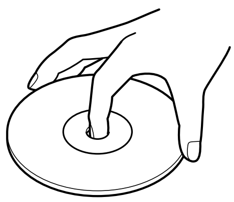
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



● 取り扱いについて

演奏面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

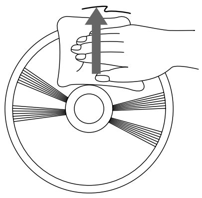


演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

● レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

● お手入れについて



汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

● 保管上の注意について

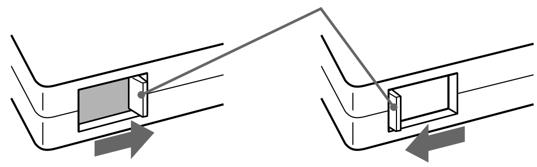
直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

MD(ミニディスク)について

MD（ミニディスク）には市販の再生専用のミュージックMDと、録音用の2種類があります。

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

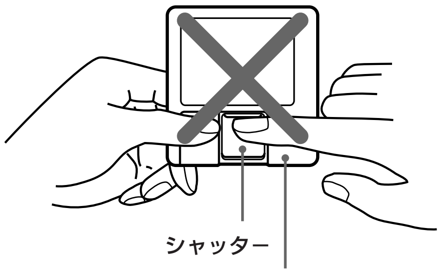
再び録音するときは、つまみを元に戻します。



MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

● 内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



● 置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所には置かないでください。

● 長時間使用しないときは

MDが本機の中に入っているときは、シャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

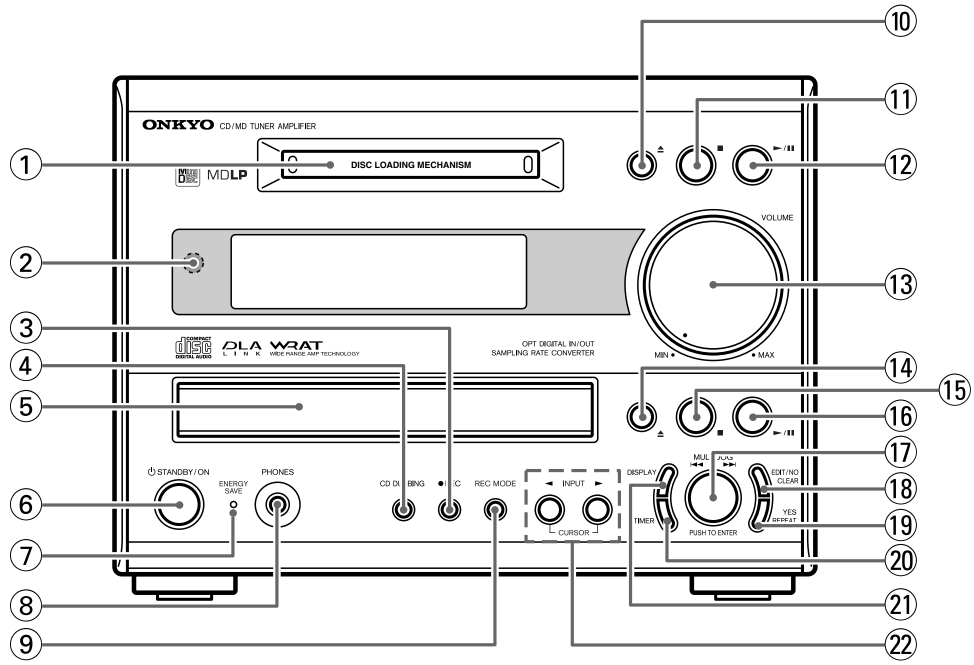
● 定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

各部の名称と働き

[ ] 内の数字は、参照ページを示しています。

◆ 本体前面



① **MD 挿入口［24］**

② **リモコン受光部［16, 58］**

③ **MD ●RECボタン［34, 36, 38, 39］**
アナログ録音/デジタル録音時、録音待機状態にします。

④ **CD DUBBINGボタン［30, 32, 33］**
CD ダビングを始めます。

⑤ **CD トレイ［22］**

⑥ **STANDBY ／ ON ボタン［17, 19, 26, 52］**
押すと電源が入ります。電源 ON 時に押すとエナジーセーブモードになります。

⑦ **ENERGY SAVE インジケーター［62］**
エナジーセーブ移行中は点滅し、エナジーセーブ中には点灯します。

⑧ **PHONES端子［10］**
ヘッドホンのミニプラグを差し込みます。

⑨ **REC MODEボタン［29, 32, 33, 34, 36］**
録音設定時に録音モードの中から好みのモードを選びます。

⑩ **MD▲ ボタン［24, 31, 32, 35, 37, 38］**
MD を取り出すときに押します。

⑪ **MD ■ボタン［24, 31, 35～38, 42, 43］**
MD の再生・録音を停止します。

⑫ **MD▶/❚❚ ボタン［24, 31, 36, 38, 40, 48］**
MD の再生やアナログ録音／デジタル録音を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。もう一度押すと再生状態に戻ります。

⑬ **音量調節つまみ［17］**
音量の調節をします。

⑭ **CD▲ ボタン［22］**
CD トレイを開閉します。

⑮ **CD ■ボタン［22］**
CD の再生を停止します。

⑯ **CD▶/❚❚ ボタン［33, 35］**
CD の再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。もう一度押すと再生状態に戻ります。

⑰ **MULTI JOGダイヤル［18, 19, 20, 22, 35, 40, 43, 46～49, 51～53, 57］**
再生中の曲番を前後に飛びこします。停止状態で押すと、再生を始める曲を選べます。登録済みのプリセットチャンネルや編集の種類を選んだり、ディスク名、曲名入力時に文字を選びます。押すと各設定を確定します。

⑱ **EDIT/NO/CLEARボタン［19～21, 30, 34, 37, 44～49, 55～57］**
録音･再生などの各設定や各編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消すときに押します。

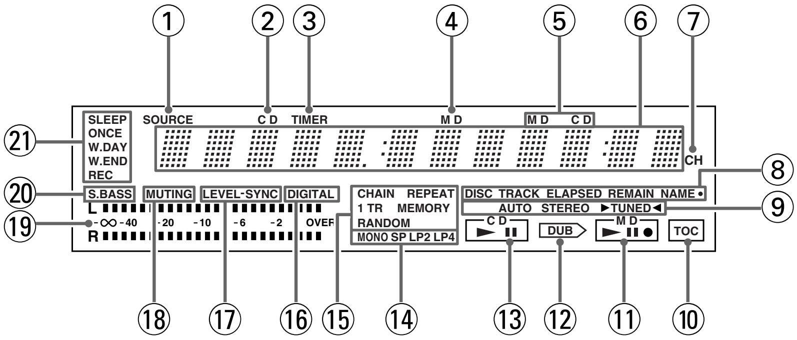
⑲ **YES/REPEAT ボタン［19～21, 30, 34, 37, 42, 44～49, 55～57］**
録音・再生などの各設定や各編集操作で表示どおりに決定するときに押します。

⑳ **TIMER ボタン［17, 51, 54］**
タイマー再生・タイマー録音の各設定を行います。

㉑ **DISPLAY ボタン［18, 23, 25, 27, 29, 31］**
押すたびに表示部の表示が切り換わります。ネーム入力時文字の種類を選びます。

㉒ **INPUT／CURSORボタン［17, 19, 20, 22, 24, 26, 27, 29, 34, 36, 38, 44～49, 55］**
聞くソースを選びます。文字入力時に、文字の訂正、消去、挿入時に使います。

◆ 表示部



①〜⑤＝多目的表示部（⑥）の内容表示

① SOURCE（ソース）表示
入力ソースを表示します。

② CD表示
（☞30、31ページ）

③ TIMER（タイマー）表示
タイマーを設定しているときに点灯します。

④ MD表示
（☞30、31ページ）

⑤ MD／CD切り換え表示
（☞30、31ページ）

⑥ 多目的表示部
曲番、ネーム、時間表示、周波数、録音、編集に関する内容を表示します。

⑦ CH（チャンネル）表示

⑧ 多目的表示部（⑥）のCD/MD情報の内容表示
（☞22〜25ページ）

⑨ FM受信情報
AUTO（オート）：チューナーがAUTO（オート）モードのとき点灯します。
STEREO（ステレオ）：チューナーがSTEREO（ステレオ）モードのとき点灯します。
►TUNED◄（チューンド）：放送局を受信すると点灯します。

⑩ TOC（トック）表示
録音や編集操作が完了した時に点灯します。

⑪ MD動作表示
MDが再生中、一時停止中、録音中に点灯します。

⑫ DUB（ダビング）表示
CDダビング中に点灯します。

⑬ CD動作表示
CDが再生中、一時停止中に点灯します。

⑭ 録音モード（MONO（モノ）、SP、LP2、LP4）表示
再生中、一時停止中はその曲を録音したときの録音モードが点灯します。
録音中、録音一時停止中は設定した録音モードが点灯します。

⑮ MODE（モード）表示
CD、MDの各モード設定中に点灯します。

⑯ DIGITAL（デジタル）表示
入力ソースがデジタルの場合に点灯します。また、デジタル機器が接続されていない場合やそれらの電源が入っていない場合は点滅します。

⑰ LEVEL-SYNC（レベルシンク）表示
レベルシンク（録音中に自動的に曲番をつける）をONに設定しているときに点灯します。

⑱ MUTING（ミューティング）表示
ミューティング中に点滅します。

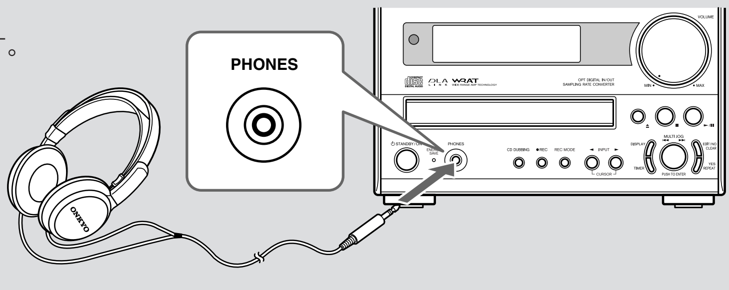
⑲ レベル表示
再生中や録音時のレベルを表示します。

⑳ S. BASS（スーパー バス）表示
リモコン（RC-465S）のS.BASS（スーパーバス）ボタンを押して重低音を強調しているときに点灯します。

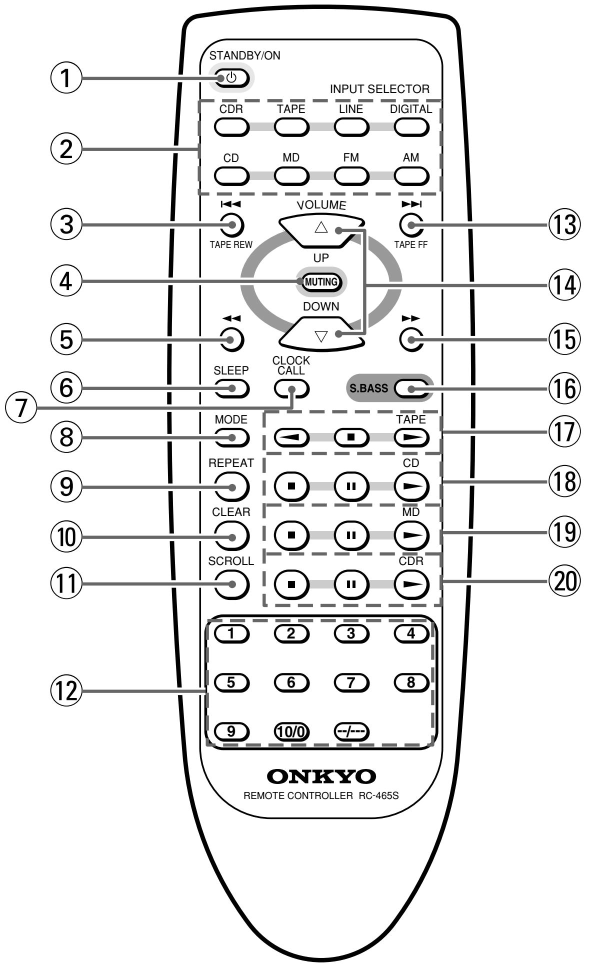
㉑ タイマー設定表示
タイマー設定しているときにいずれかの表示が点灯します。

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。
接続するときは音量を下げてください。
スピーカーの音声は消えます。



◆ リモコン



① STANDBY／ONボタン
本機をスタンバイオン↔オフに切り換えます。

② INPUT SELECTORボタン
入力を切り換えます。

③ ▮◀◀／TAPE REWボタン
▮◀◀：(☞22、24、27ページ)
TAPE REW： 本機とRI接続したテープデッキの巻き戻し（または早送り）をします。

④ MUTINGボタン［28］
音量がごく小さくなります。

⑤ ◀◀ボタン
(☞22、24、27ページ)

⑥ SLEEPボタン［50］
設定した時間になると自動的に電源が切れます。

⑦ CLOCK CALLボタン［18］
押すと時刻を確認できます。

⑧ MODEボタン［27, 41、42］
入力がMD、CDのとき、1TR、RANDOM、MEMORYモードを選びます。

⑨ REPEATボタン
入力がMD、CDのとき、REPEATまたはCHAIN REPEATを選びます。

⑩ CLEARボタン
メモリー内容を取り消すとき、停止中に押します。
ネーム入力時、文字を削除するときに押します。

⑪ SCROLLボタン［23］

⑫ 数字ボタン(☞23、25、27ページ)

⑬ ▶▶▮／TAPE FFボタン
▶▶▮：(☞22、24、27ページ)
TAPE FF： 本機とRI接続したテープデッキの早送り（または巻き戻し）をします。

⑭ VOLUME ▲／▼ボタン
(☞22、24、27ページ)

⑮ ▶▶ボタン
(☞22、24、27ページ)

⑯ S. BASSボタン［28］
重低音を強調します。

⑰ 別売のオンキヨー製カセットテープデッキ(K-SX7)操作ボタン［39］
▶：表面を再生します。
■：再生を停止します。
◀：裏面を再生します。

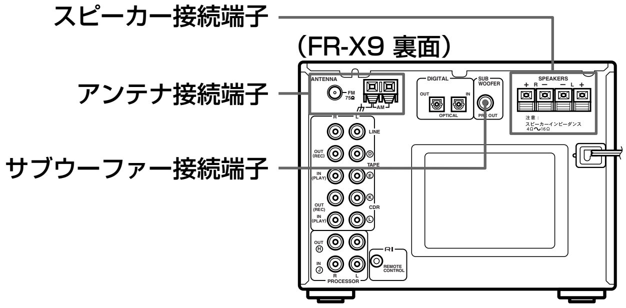
⑱ CD操作ボタン
(☞23ページ)

⑲ MD操作ボタン
(☞24ページ)

⑳ CDR操作ボタン
別売のオンキヨー製CDレコーダー操作ボタン
▶：再生を始めます。
▮▮：再生を一時停止します。
もう一度押すと再生を始めます。
■：再生を停止します。

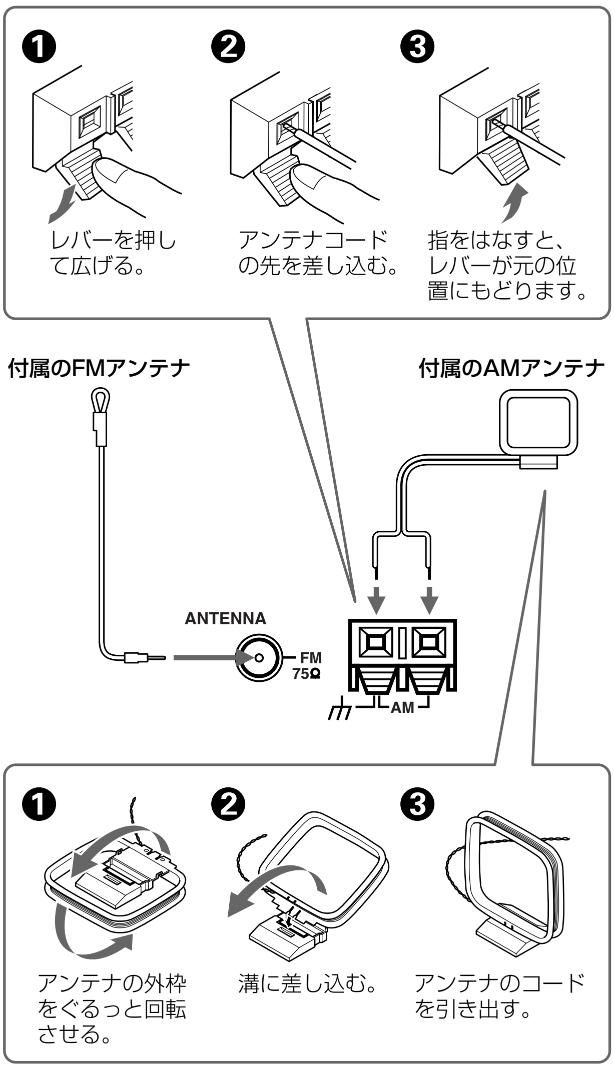
アンテナ・スピーカーの接続をする

すべての接続が終わってから電源を入れてください（16ページ）。



◆ 付属の FM ／ AM アンテナを接続する

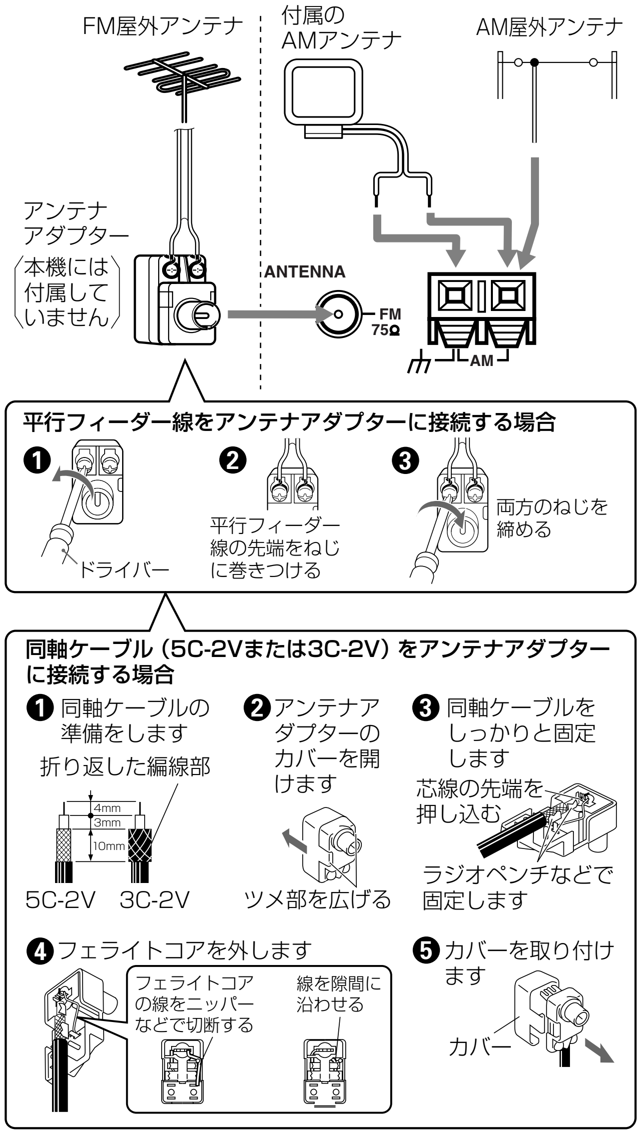
アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います（26 ページ）。



! ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、極性などによる区別は有りません。）

◆ FM ／ AM 屋外アンテナを接続する



FM 屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

! ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

⚠ 送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

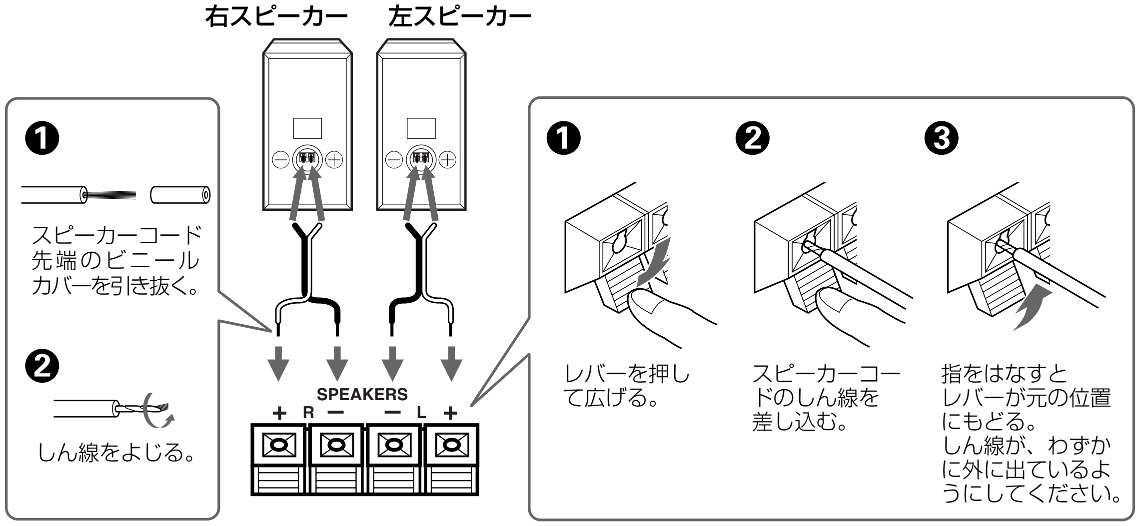
AM 屋外アンテナについて

鉄筋住宅などで付属の AM 室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m 以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

ご注意

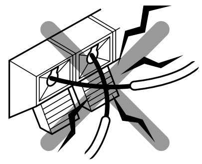
AM屋外アンテナを接続するときも、必ず付属のAM室内アンテナを接続しておいてください。

◆ スピーカーを接続する

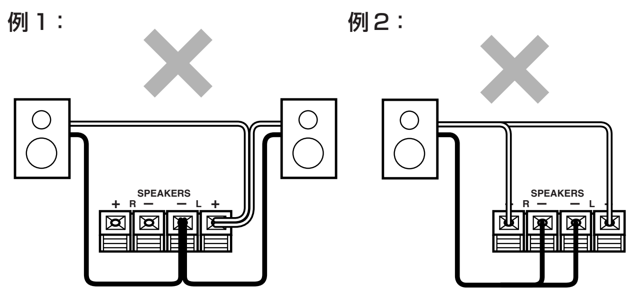


ご注意

- プラス（+）、マイナス（−）を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。音声が不自然になります。
- スピーカーはインピーダンスが4Ω～16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線を絶対にショートさせないでください。

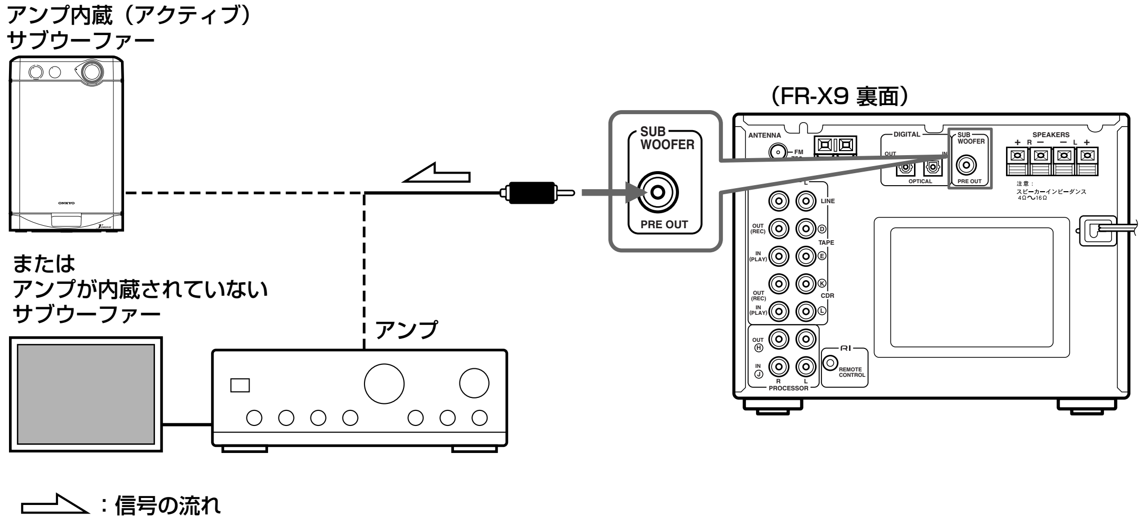


- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。



◆ サブウーファー端子について

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を使うか、アンプを本機に接続してからサブウーファーをアンプに接続してください。



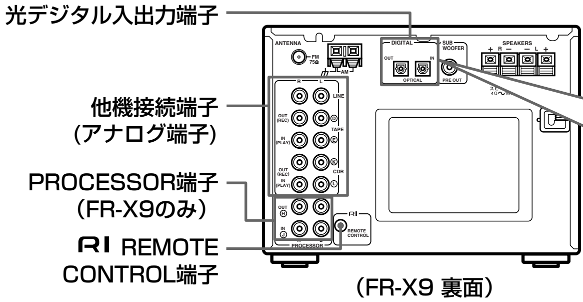
外部機器を接続する

すべての接続が終わってから電源を入れてください（16ページ）。

⊘ 設置の際は本機の上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。（☞「■ 放熱を妨げない」、5ページ）

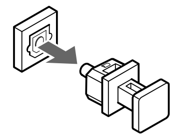
！ヒント

接続した外部機器に合わせ、入力名称表示を変更することもできます。（☞ 55ページ）



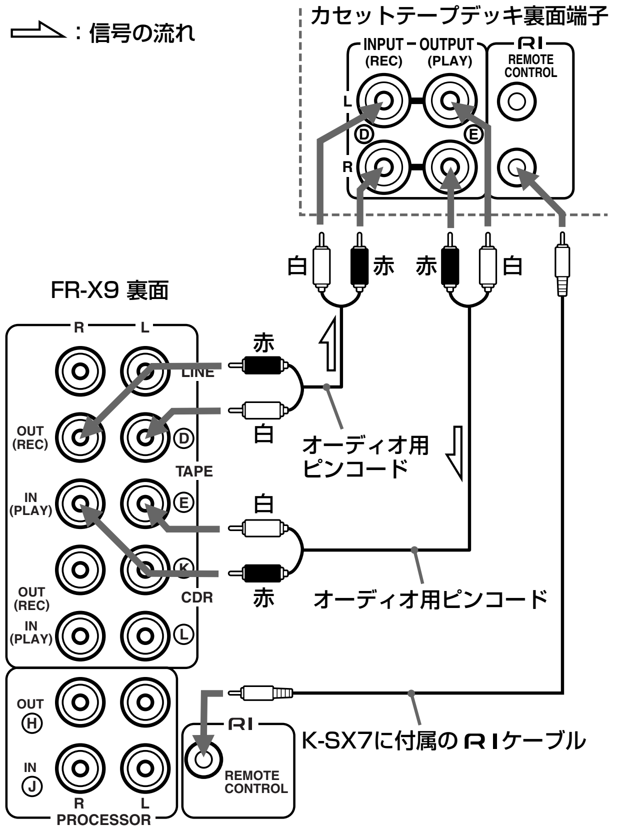
光デジタル入出力端子の保護用キャップについて

接続時は取りはずして、大切に保管してください。端子を使用しない場合は、必ずキャップを元どおりに取り付けてください。



◆ オンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7 との接続例

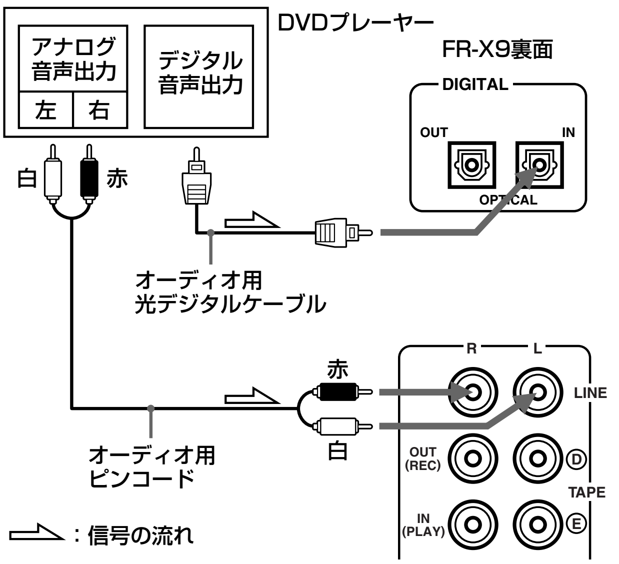
下図は別売のオンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7 との接続例です。本機の TAPE OUT (REC)と IN(PLAY)端子を K-SX7 の INPUT (REC)と OUTPUT (PLAY)にそれぞれ接続してください。機器の端子に印刷されている記号（Ⓓ と Ⓓ、Ⓔ と Ⓔ）を合わせて接続します。



RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでK-SX7も操作できます。
- K-SX7の再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞ 39ページ）

◆ DVD プレーヤーとの接続例



光デジタル入力端子（DIGITAL IN）について

デジタル（OPTICAL）出力端子付きのCDプレーヤーや、CS チューナー、DAT などを接続すると、本機でデジタル入力録音ができます。接続するときは、市販の**オーディオ用光デジタルケーブル**を必ずご使用ください。

光デジタル出力端子（DIGITAL OUT）について

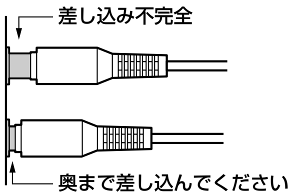
デジタル（OPTICAL）入力端子付きのコンパクトディスクレコーダーや DAT などを接続すると、接続機器でのデジタル入力録音ができます。接続するときは、市販の**オーディオ用光デジタルケーブル**を必ずご使用ください。（ただし、シリアルコピーマネージメントシステム（☞63 ページ）によりデジタル信号での録音は一度限りです。）入力を CD-R に設定している場合は、デジタル信号は出力されません。

LINE（ライン）入力端子について

この端子には DVD プレーヤーのほかにレーザーディスク、CS チューナー、BS チューナー、ビデオなどの音声出力を接続することができます。接続する機器の出力（OUTPUT）端子を接続してください。

ご注意

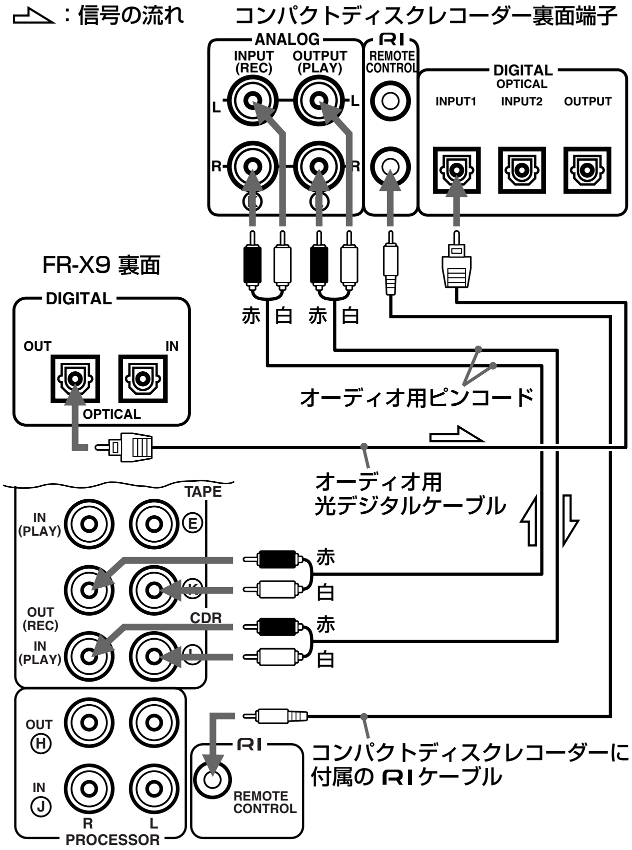
- デジタルコピーには制限があります。（☞ 63ページ）
- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。



- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。
- DVDプレーヤーのデジタル音声出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する場合は、DVDプレーヤー側でPCM出力に設定してください。
  ただしDVDプレーヤーによってはPCMに設定できない場合があります。そのときは接続しても音声出力されません。

◆ オンキヨー製コンパクトディスクレコーダーとの接続例

下図は別売のオンキヨー製コンパクトディスクレコーダーとの接続例です。本機のCDR OUT(REC)とIN(PLAY)端子をコンパクトディスクレコーダーのINPUT(REC)とOUTPUT(PLAY)にそれぞれ接続してください。



CDR（シーディーアール）端子について

この端子には、コンパクトディスクレコーダーのほかにパソコン用オーディオプロセッサーの音声出力を接続することができます。

光デジタル入力端子(DIGITAL IN)について

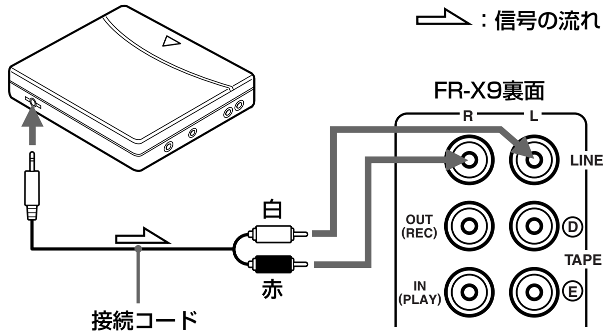
この端子には、コンパクトディスクレコーダーのほかにパソコン用オーディオプロセッサーのデジタル出力を接続することができます。 また、RI端子付きのオンキヨー製品とシステム接続をする場合は、入力表示を“PC-RI/dig”に切り換えてください。（☞55ページ参照）

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製コンパクトディスクレコーダーも操作できます。
- オンキヨー製コンパクトディスクレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。
- 本機にコンパクトディスクレコーダーとK-SX7を接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。

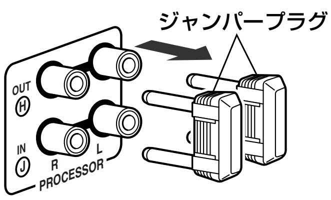
◆ ポータブル MD とのアナログ接続例

ポータブルMD側の接続については、ポータブルMDの取扱説明書を参照してください。



◆ プロセッサー（PROCESSOR）端子について（FR-X9のみ）

FR-X9にはプロセッサー端子が装備されています。この端子にはジャンパープラグが差し込んであります。オンキヨー製グラフィックイコライザー(EQ-205)やサラウンドプロセッサー(ED-205)などを接続する場合は、ジャンパープラグをはずしてからピンコードを接続してください。



- EQ-205、ED-205などを使用する場合は、本機のⒽのところにⒽをⒿのところにⒿを接続してください。
  またRI端子も必ず接続してください。
  詳しい接続方法については、グラフィックイコライザー、サラウンドプロセッサーなどの取扱説明書をご覧ください。

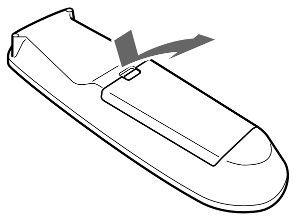
ご注意

- はずしたジャンパープラグは、他の端子に差し込まず大切に保管しておいてください。他の端子に差し込みますと音が出なくなったり、故障の原因となります。
- プロセッサー端子を使用しない場合は、ジャンパープラグを必ずもとの端子にしっかり差し込んでください。（上図のようにジャンパープラグを縦にしてINとOUTを接続）

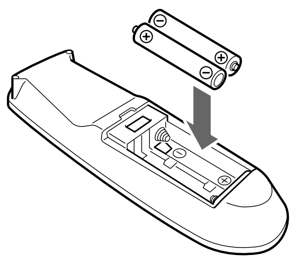
リモコンを準備する／電源コードを接続する

◆ 乾電池を入れる

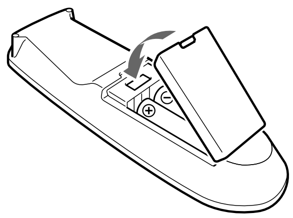
❶ カバーを矢印の方向に押し下げてはずす。



❷ 中の極性表示にしたがって、付属の電池２個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる。



❸ カバーを戻す。

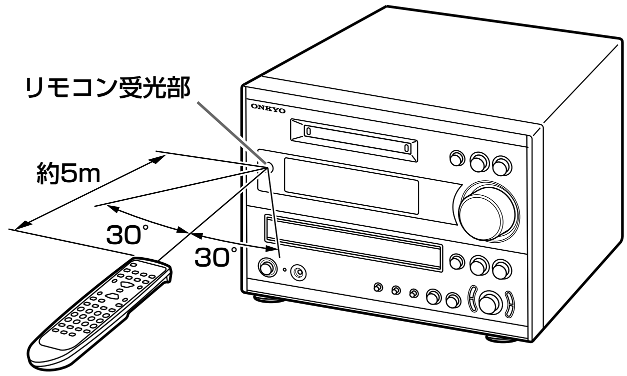


ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

◆ リモコンを使うには

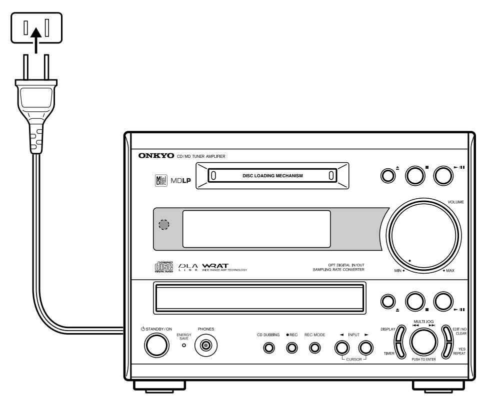
リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

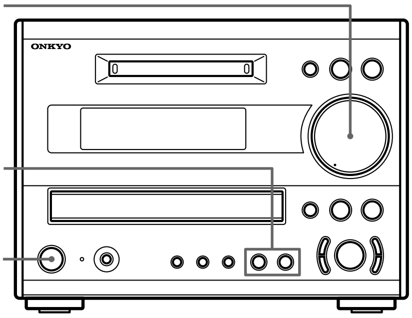
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

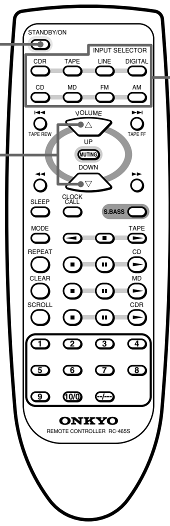
電源コードを接続する



電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態になり、表示部に「－－：－－」が表示されます。

操作の前に共通の基本操作を理解する





◆ 電源を入れる

本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。

本機には３通りの電源状態があります。

スタンバイ状態 ... 表示部に時刻（時刻を設定していない場合は「−−：−−」）が表示されている状態です。
(☞16ページ参照)

電源オン状態 .... スタンバイ状態の時に、本機またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押して電源を入れた状態です。通常の操作ができます。

エナジーセーブ状態 .... 電源が入っている時に本体のSTANDBY/ONボタンを押して省電力モードにした状態です。エナジーセーブインジケーターが点灯します。
(☞ 62ページ参照)

！ヒント

- 電源が入っている時に本体のSTANDBY/ONボタンを押すと、エナジーセーブ状態になり、リモコンのSTANDBY/ONボタンを押すとスタンバイ状態になります。
- 本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製コンパクトディスクレコーダーやカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めますと、本機の電源が自動的に入ります。また、本機の電源を入／切しますと、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、切れたり（スタンバイ状態）します。

◆ 音量を調節する

本体の音量調節つまみを回すか、リモコンのVOLUME▲/▼ボタン押します。

◆ 入力を切り換える

本機の入力にはCD、MD、FM／AM放送、接続した各外部機器（LINE、DIGITAL、CD-R、TAPE、）があります。入力を選択するには対応する入力切り換えボタン（INPUT）を押してください。

本体の入力切り換えボタン（INPUT）

本体の入力切り換えボタンを押すたびの入力が下記のように切り換わります。

CD-R ←→ TAPE ←→ LINE ←→ DIGITAL
↕ ↕
AM ←→ FM ←→ MD ←→ CD

リモコンの入力切り換えボタン（INPUT SELECTOR）

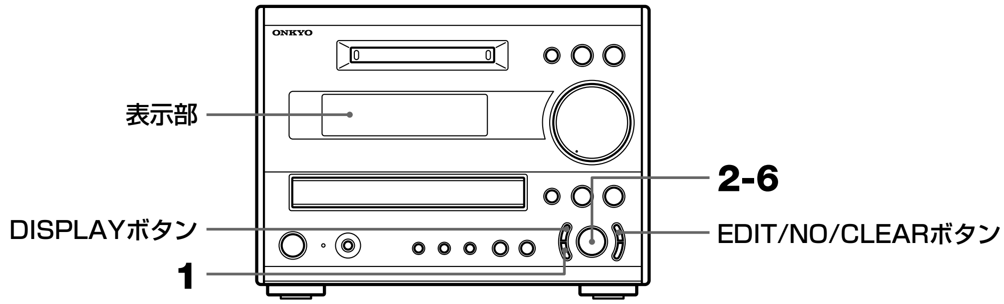
リモコンでは以下の各ボタンを押すと、１回で入力を切り換えることができます。
DIGITAL、CD-R、TAPE、LINE、CD、MD、FM、AM

ご注意

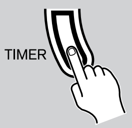
DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

曜日と現在時刻を設定する

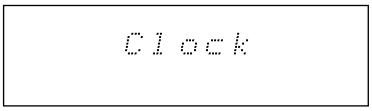
お好みにより、12時間表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）



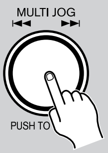
1



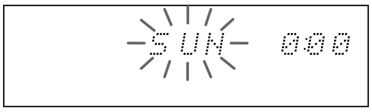
TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、「Clock（クロック）」を表示する



2



MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押す

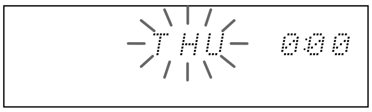


曜日入力に入ります。
12時間表示で設定したい場合は、ここでDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押します。

3

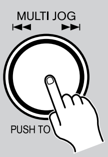


MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して今日の曜日を選ぶ

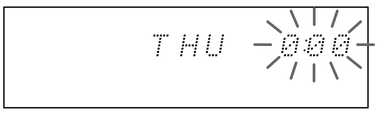


SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4



MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押して、曜日を確定する



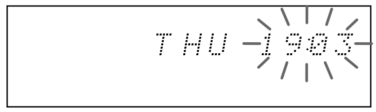
時間入力に入ります。

5

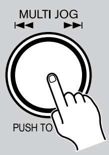


MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、時刻をあわせる

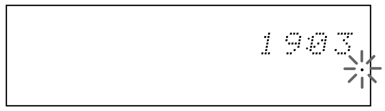
24時間表示



6



時報に合わせてMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押す



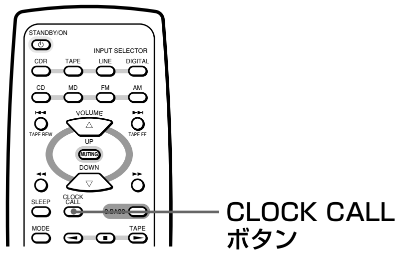
時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押す。

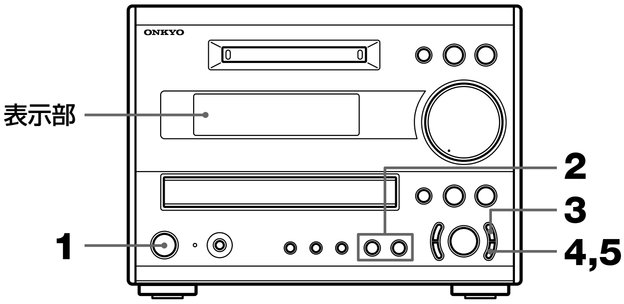
◆ 時刻、曜日を確かめる

電源が入っているときに、TIMER（タイマー）ボタンを押して“Clock（クロック）”と表示させたあと、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンをくり返し押します。表示が時刻表示に切り換わります。
時間表示はリモコンのCLOCK CALL（クロック コール）ボタンでも確認できます。
時刻表示中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、12時間表示と24時間表示の切り換えができます。



FM局を自動で登録するーオートプリセット

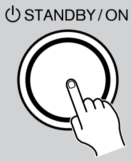
登録すれば放送局を周波数で合わせなくてもチャンネル選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。AM局はオートプリセットできませんので、次ページをご覧ください。



予備知識

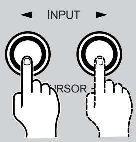
- プリセットは、FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。
- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの間で行います。
- 既にFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

1



STANDBY/ONボタンを押して、電源を入れる

2



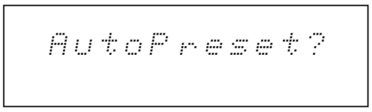
INPUTボタンを(くり返し)押して、｢FM｣を表示する



3



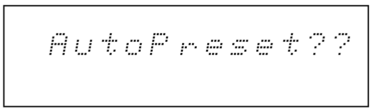
EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押して、「AutoPreset?」を表示する



4



YES/REPEATボタンを押す



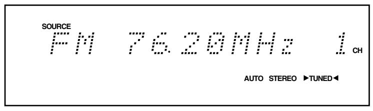
再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。

オートプリセットをやめるときはEDIT/**NO**/CLEARボタンを押してください。

5



YES/REPEATボタンを押す



オートプリセットが始まります。
周波数の低い局からさがし始め、プリセットチャンネル番号1から順に自動登録していきます。

ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなプリセットチャンネルは削除してください。（56ページ）

オートプリセットがうまくいかないときは

- アンテナ接続をもう一度確認してください。(☞ 12ページ)
- アンテナの設置位置を確認してください。（☞ 26ページ）

停電になったり、電源コードを抜いたときは

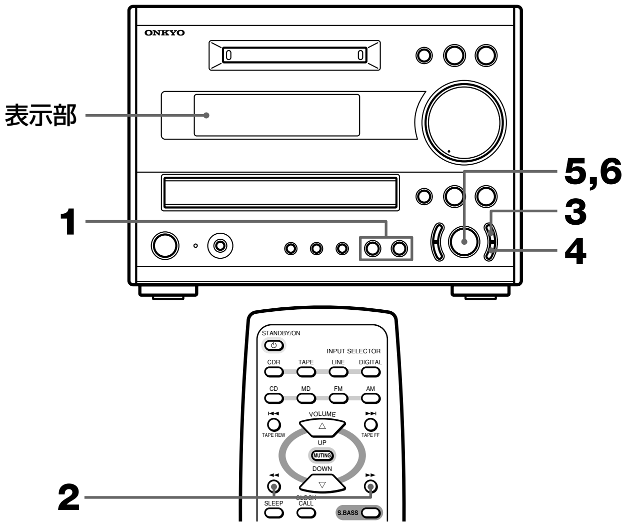
メモリーは通常、本機の電源コードをはずしてから2日間は保持されます。万一プリセットチャンネルが消えてしまった場合は、オートプリセットを再度行ってください。

◆ プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したチャンネルに放送局名など、名前をつける。 ☞ 43ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞ 56ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞ 57ページ

AM、FM局を1局ずつ登録する－プリセットライト

AM 局は周波数をマニュアルで合わせて、1 局ずつプリセットチャンネルに登録します。
（FM 局もオートプリセットの他に、この方法で登録することもできます。）



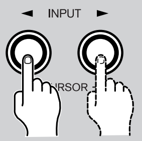
予備知識

- プリセットは、FM、AM 合わせて 30 チャンネルまで登録できます。例えば、FM で 8 チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- プリセットライトの場合は、任意のチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

操作の前に

電源を入れてください。

1

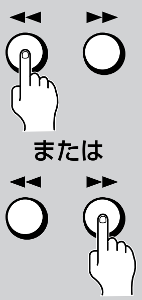


INPUT（インプット）ボタンを（くり返し）押して、「AM」を表示する
リモコンの AM ボタンを押して選ぶこともできます

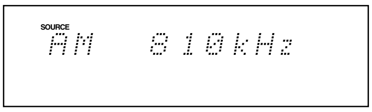


FM 局を登録するときは「FM」を表示します。

2



リモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、受信したい放送局の周波数を表示する

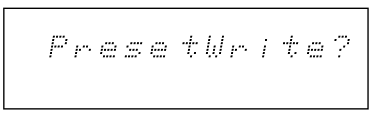


ボタンを押し続けると連続して周波数が変わります。

3



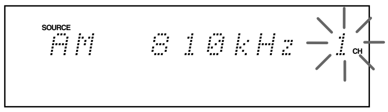
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを（くり返し）押して、「Preset（プリセット） Write?（ライト?）」を表示する



4

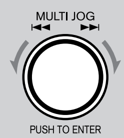


YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す

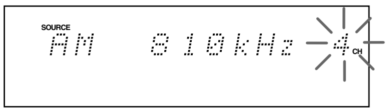


登録するチャンネルが表示されます。
中断するときは EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

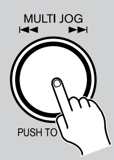
5



別のチャンネルに登録するときは、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回す



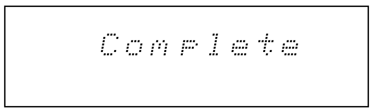
6



MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押して決定する

YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押しても同じです。

- **「Complete（コンプリート）」（完了）と表示されたときは**



放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

● 「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

Overwrite? 4ch

選んだチャンネル番号は登録済みです。



○ すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押します。

○ 登録をやめるときは、EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

● 「Memory Full（メモリー フル）」と表示されたときは

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞ 56ページ）、再度登録してください。

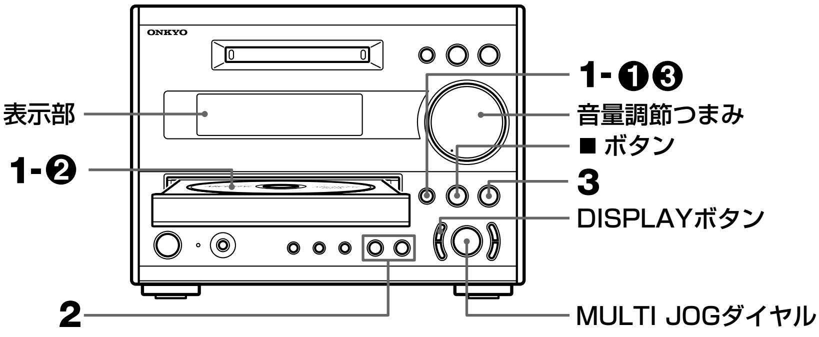
7 **次を登録するときは、手順2～6をくり返す**

ここもご覧ください

「停電になったり、電源コードを抜いたときは」（19ページ）
「プリセットしたあとにこんなこともできます」（19ページ）

準備する

CD を聞く



1 （CD 側） CD をセットする



❶ **CD の ▲(開閉）ボタンを押して、トレイを開く**

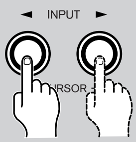
❷ **CD をトレイに置く**
レーベル面を上にしてトレイの上に置く。
シングル CD のときは、内側のくぼみの中に置く。

❸ **CD の ▲(開閉）ボタンを押して、トレイを閉じる**

! ヒント

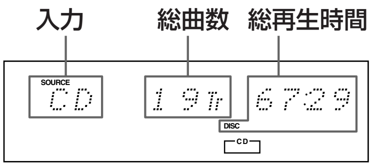
スタンバイ状態のときにCDの▲ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 入力を CD にする



INPUT（インプット）ボタンを(くり返し)押して「CD」を表示させせます。

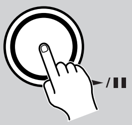
<表示部の CD 情報>



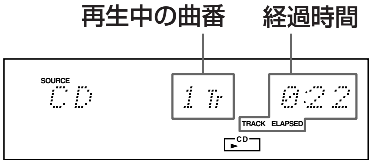
! ヒント

☞「表示部の情報を切り換える」（次ページ）

3 （CD 側） CDの►／❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す



再生が始まります。
CD を最後まで再生すると自動的に停止します。



音量を調節する

音量調節つまみを回します。

一時停止する

CD の ►/❚❚ ボタンを押します。
表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

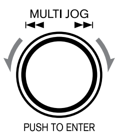
CD の■ボタンを押します。

CD を取り出す

CD の ▲ ボタンを押してトレイを開けます。

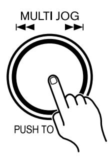
◆聞きたい曲を選ぶ

● **MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを少し左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。（再生中）**



右に回すと 1 曲ずつ次へ進みます。

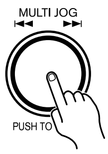
停止中は MULTI JOG（マルチ ジョグ） ダイヤルを押すと、再生が始まります。



ご注意

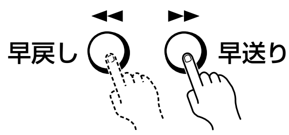
曲数の多い CD の場合、再生が始まるまでに少し時間がかかることがあります。

● **再生中、停止中にMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押すと、1 曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。**



◆ 早戻し／早送りをする（リモコン操作のみ）

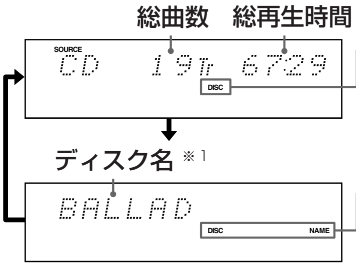
再生中、一時停止中に◄◄または►► ボタンを押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。



◆表示部の情報を切り換える－本体操作のみ

本体の DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中



DISC
ディスク情報を表示しているときに点灯

DISC NAME
ディスクの名前を表示しているときに点灯

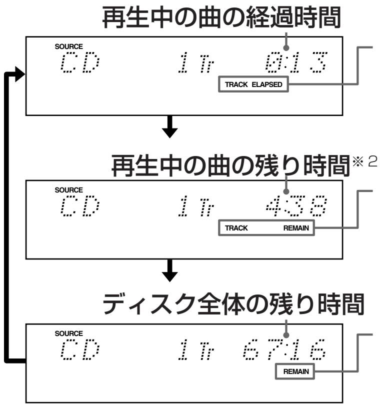
※1 CD に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、数秒後にもとの表示に戻ります。

☞「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（43 ページ）

ディスク名が長いときは

リモコンの SCROLL ボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

一時停止中、再生中



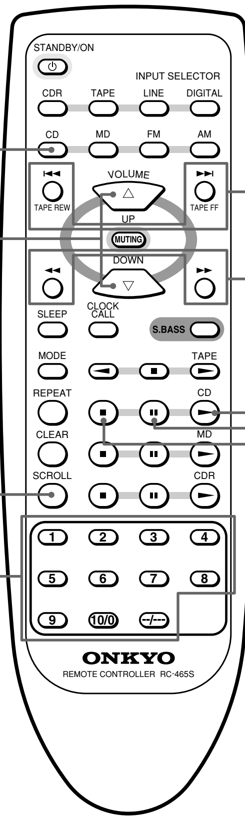
TRACK ELAPSED
曲の経過時間を表示しているときに点灯

TRACK REMAIN
曲の残り時間を表示しているときに点灯

REMAIN
ディスクの残り時間を表示しているときに点灯

※2 21 曲目以降の曲を残り時間表示にしたときは、“－－：－－”表示になります。

◆リモコンで操作する



CDを選ぶ

音量を調節する
VOLUME UP △ボタンを押すと音が大きく、VOLUME DOWN ▽ボタンを押すと小さくなります。

長いディスク名をスクロール表示する

数字ボタン

選曲して再生する
(--/---) は入力する位の指定、(10/0) は10もしくは0を表します。

例） 曲番	押すボタン
8	(8)
10	(10/0)
34	(--/---)、(3)、(4)

聞きたい曲を選ぶ
※再生中、一時停止中に I◀◀ ボタンを 1 回押すと聞いている曲の頭に戻り、2 回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに 1 つ前の曲になります。
※ ▶▶I ボタンを押すと、押すたびに 1 つ次の曲になります。

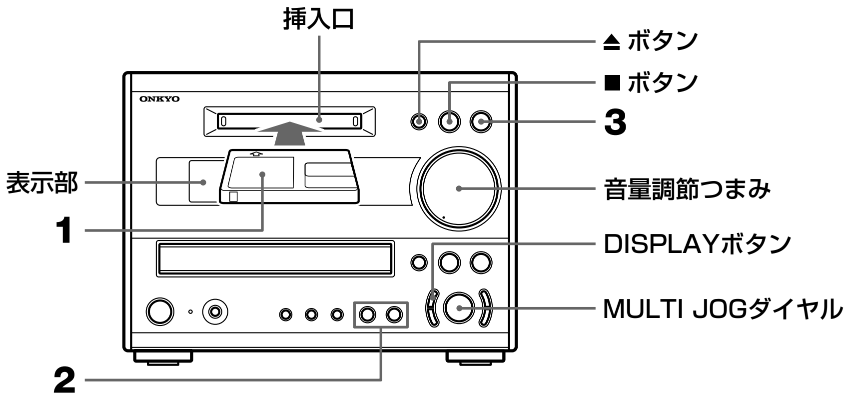
早戻し／早送りをする
再生中／一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生する
スタンバイ状態でＣＤがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

再生を一時停止する
一時停止したところから再生を始めるには、同じ❚❚ボタンまたは、ＣＤの▶ボタンを押します。

再生を止める

MD を聞く



1

MD をセットする

再生専用か、録音済みの MD を選んでください。

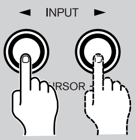
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。

軽く押すと自動的に引き込まれます。

!ヒント

スタンバイ状態のときに MD を挿入すると、自動的に電源が入ります。

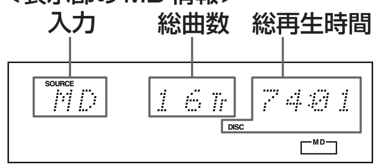
2



入力をMD にする

INPUT(インプット)ボタンを(くり返し)押して「MD」を表示させます。

<表示部の MD 情報>

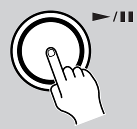


!ヒント

☞「表示部の情報を切り換える」(次ページ)

3

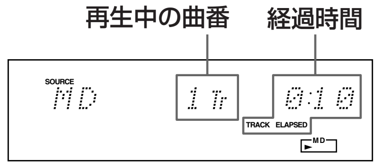
(MD 側)



MD の ►/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押す

再生が始まります。

録音部分の再生が終わると自動的に停止します。



音量を調節する

音量調節つまみを回します。

一時停止する

MD の ►/❚❚ ボタンを押します。

表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

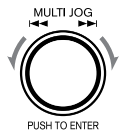
MD の■ボタンを押します。

MD を取り出す

MD の ▲ ボタンを押します。

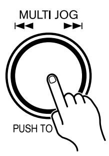
◆聞きたい曲を選ぶ

● MULTI JOG(マルチ ジョグ)ダイヤルを少し左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと 1 曲ずつ前に戻ります。(再生中)

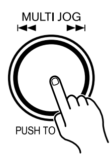


右に回すと 1 曲ずつ次へ進みます。

停止中は MULTI JOG(マルチ ジョグ) ダイヤルを押すと、再生が始まります。

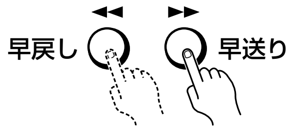


● 再生中、停止中にMULTI JOG(マルチ ジョグ)ダイヤルを押すと、1 曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。



◆ 早戻し／早送りをする(リモコン操作のみ)

再生中、一時停止中に ◄◄ または ►► ボタンを押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。



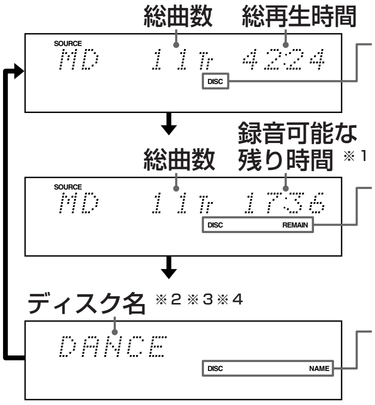
お知らせ

一時停止中は音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

◆表示部の情報を切り換える－本体操作のみ

本体の DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

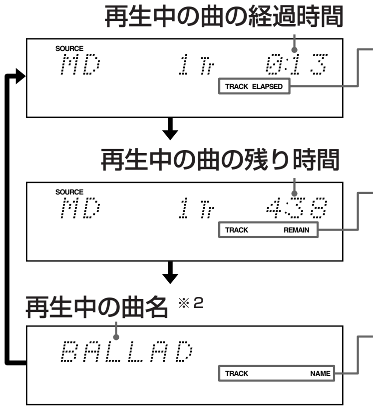


DISC
ディスク情報を表示しているときに点灯

DISC REMAIN
ディスクの録音可能な残り時間を表示しているときに点灯

DISC NAME
ディスクの名前を表示しているときに点灯

再生中、一時停止中



TRACK ELAPSED
曲の経過時間を表示しているときに点灯

TRACK REMAIN
曲の残り時間を表示しているときに点灯

TRACK NAME
曲の名前を表示しているときに点灯

※1 再生専用ディスクのときは表示しません。

※2 ディスクや曲に名前がついていないときは曲番のみが表示されます。

☞「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（43 ページ）

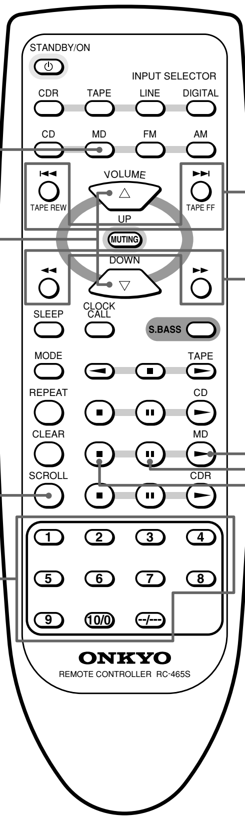
※3 なにも録音されていない MD のときは、「MD BlankDisc」が表示されます。

※4 曲が入っておらず、ディスク名だけが付いている MD のときは、「MD No Track」が表示されます。

ディスク名、曲名が長いときは

リモコンの SCROLL ボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

◆リモコンで操作する



MDを選ぶ

音量を調節する
VOLUME UP△ボタンを押すと音が大きく、VOLUME DOWN▽ボタンを押すと小さくなります。

長いディスク名、曲名をスクロール表示する

数字ボタン

選曲して再生する
(--/---) は入力する位の指定、(10/0) は10もしくは0を表します。

例） 曲番	押すボタン
8	(8)
10	(10/0)
34	(--/---)、(3)、(4)
103	(--/---)、(--/---)、(1) (10/0)、(3)

聞きたい曲を選ぶ
※再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを 1 回押すと聞いている曲の頭に戻り、 2 回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに 1 つ前の曲になります。
※⏭ ボタンを押すと、押すたびに 1 つ後ろの曲になります。

早戻し／早送りをする
再生中／一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。
一時停止中は音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

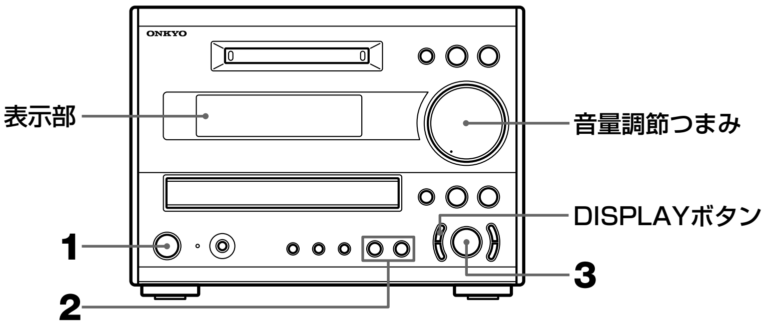
再生する
スタンバイ状態でMDがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

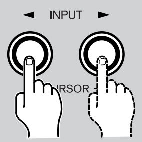
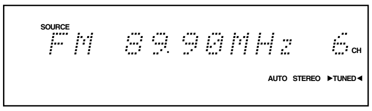
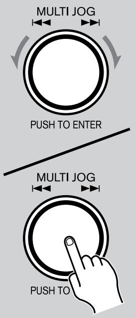
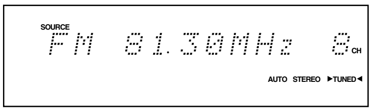
再生を一時停止する
一時停止したところから再生を始めるには、同じ❚❚ボタンまたは、MDの►ボタンを押します。

再生を止める

FM ／ AM 放送を聞く

あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。（☞ 19 ～ 21 ページ）



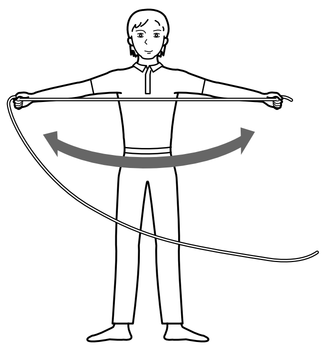
1 	**電源を入れる**
2 	**入力（インプット）を FM または AM にする** INPUTボタンを（くり返し）押して「FM」または「AM」を表示させせます。 前回最後に選択したチャンネルが呼び出されます。 
3 	**MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回すか、ダイヤルを（くり返し）押してプリセットチャンネルを選ぶ** 左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。  **音量を調節する** 音量調節つまみを回します。

◆アンテナの調整をする

FM アンテナを調整して固定する

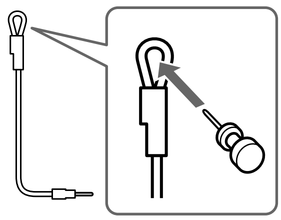
FM 放送を聞きながら FM アンテナの調整をします。

❶



アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

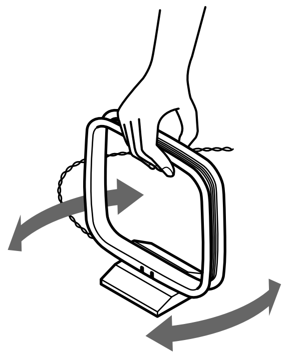
❷



画びょうなどでアンテナの先を止める。

AM アンテナを調整する

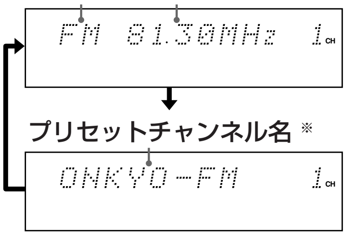
AM 放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。



◆表示部の情報を切り換える－本体操作のみ

本体の DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM/AM　周波数

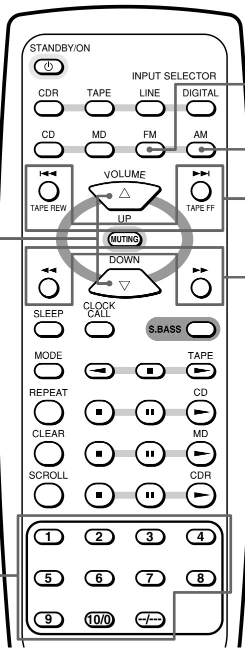


プリセットチャンネル名 ※

※ プリセットチャンネルに名前がついていないときは、「No Name」が表示され、数秒後に周波数表示に戻ります。

☞「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（43 ページ）

◆リモコンで操作する



FMを選ぶ

AMを選ぶ

プリセットチャンネルを選ぶ

⏮ ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

マニュアルで周波数を合わせる

下記参照。

音量を調節する

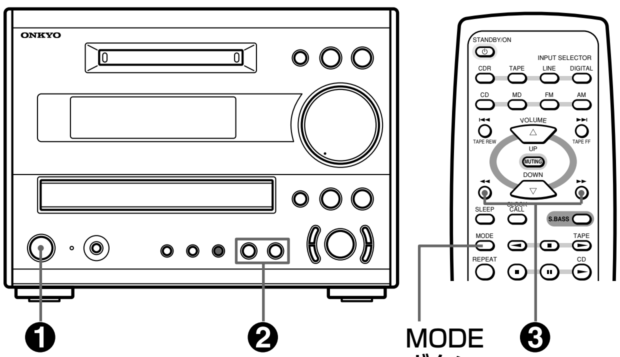
VOLUME UP △ボタンを押すと音が大きく、VOLUME DOWN ▽ボタンを押すと小さくなります。

数字ボタン

プリセットチャンネルを選ぶ

例） チャンネル番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	--/---、2、2

◆マニュアルで周波数を合わせるときは



❶ **電源を入れる。**

❷ **入力を FM か AM にする。**

❸ **リモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる。**

一回押すごとに周波数が FM では 50kHz、AM では 9kHz ずつ変わります。1 秒以上押すと周波数が連続して変化します。FM の場合は ◀◀ または ▶▶ ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）ます。止めるには ◀◀ または ▶▶ ボタンを再度押してください。

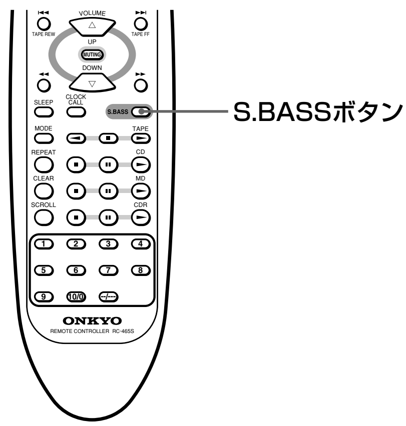
FM 放送を受信しにくいときは

FM ステレオ放送を受信すると STEREO 表示が点灯します。ただし電波の弱い所や雑音の多い所では点灯しませんので、この場合はリモコンの MODE ボタンを押して、モノラル受信にしてください。

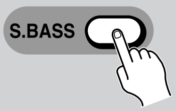
雑音や音切れを軽減できます。

AUTO にもどすときは、MODE ボタンを再度押します。

音質を調整する



◆重低音を強調する（リモコンのみの機能です）

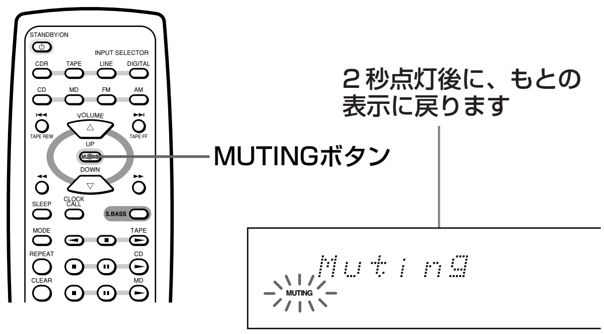


S. BASS（スーパーバス）ボタンを押します。

ボタンを押すたびに表示が以下のように切り換わります。

S. Bass Off
↓
S. Bass 1
（重低音が強調されます）
↓
S. Bass 2
（重低音がさらに強調されます）
↓
S. Bass 3
（重低音に加えて、高音も同時に強調されます）
↓（S. Bass Off に戻る）

◆音量を一時的に消す ーミューティング（リモコンのみの機能です）



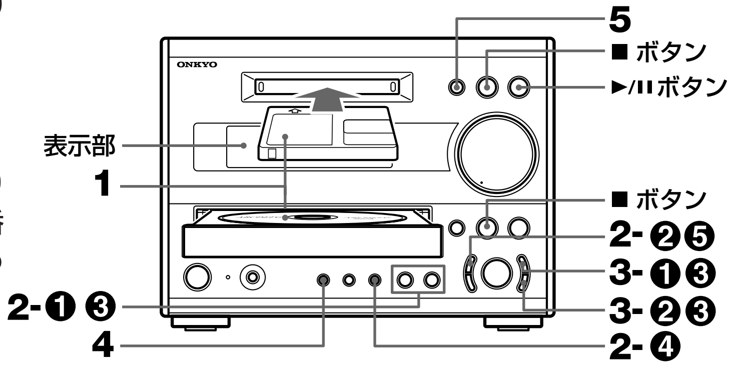
MUTING（ミューティング）ボタンを押すと MUTING（ミューティング）表示が点滅し、音量がごく小さくなります。
もう一度押すと、解除されます。

以下のときも解除されます。

- リモコンの VOLUME（ボリューム）▲/▼ボタンを押したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

CDをMDに録音する(CDダビング)

● デジタルで録音されます。
● 途中まで録音してあるMDの場合、MDの最後の曲のあとに録音されます。曲番も、MDの最後の曲番のあとから順についていきます。

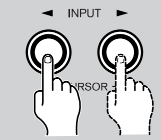


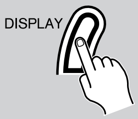
1

CDとMDをセットする

☞「CDを聞く」の手順 **1**（22ページ）
☞「MDを聞く」の手順 **1**（24ページ）
MDは録音用を選んでください。

2

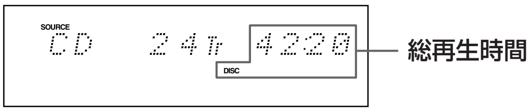


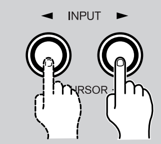


録音時間を確認する

❶ INPUT（インプット）ボタンを（くり返し）押して、「CD」を表示する

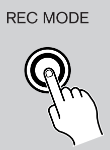
❷ ディスクの総再生時間を確認する





❸ INPUT（インプット）ボタンを押して、「MD」を表示する

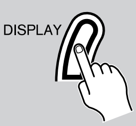
❹ 録音モードを選ぶ



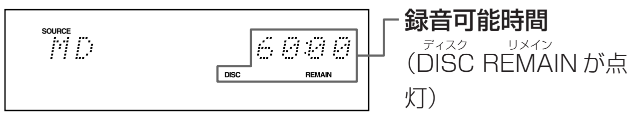
REC MODE（レック モード）ボタンで好みの録音モードを選びます。ボタンを押すたびに表示部の表示が下記のように切り換わります。

- MONO（モノ）：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。
- ↓ SP：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。
- ↓ LP2：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。
- ↓ LP4：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。（→ MONOに戻る）

❺ MDの録音可能な残り時間を確認する



録音可能時間が表示されていないときは、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。



お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336

！ヒント

レベルシンクがオンの場合、シグナルウエイト機能がはたらきます。（☞39ページ）
この機能をはたらかせたくない場合は、レベルシンクをオフにしてください。（☞37ページ）

ご注意

LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。
また、このディスクを他のMDプレーヤーで再生すると表示部にタイトルとして"LP："が表示されることがあります。

➥ 次ページへ続く

CD を MD に録音する（CD ダビング）（つづき）

3





CD ダビングモードを選ぶ

CD Dub Mode?

（CDダビングモードを変更しますか？）

現在のモード

Fade ➡ Album?

（フェードアウトからアルバムにしますか？）

❶ **EDIT ／ NO ／ CLEAR ボタンを（くり返し）押して「CD Dub Mode?」を表示させる**

❷ **YES ／ REPEAT ボタンを押す**

現在の設定が表示されます。

左記の場合は Fade out モードです。

アルバムダビング…
最後まで録音されなかった曲は削除されます。

フェードアウトダビング…
最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を除々に小さくする）します。



または



Album Mode

（アルバムモードです）

手順 **2** − ❺ の表示に戻ります

❸ **ダビングモードを切り換えたいときは、YES ／ REPEAT ボタンを押す**
切り換えない場合は EDIT/NO/CLEAR ボタンを押す

ご注意

CD ダビングモードの設定は、CD ダビングのみの機能です。
CD 倍速ダビング、シンクロ録音時などに設定することはできません。

4

CD DUBBING



CD DUBBING ボタンを押して、ダビングを始める

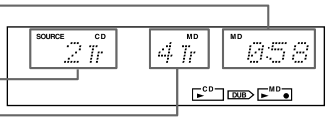
x2 Dubbing?	➡	CD-MD Dubbin
"X2 Dubbing?"が2秒表示されます。		"CD-MD Dubbing"がスクロールします。

CD は高速回転しながら、最大レベルの検出を行い、MD への最適な録音レベルを設定します。（DLA LINK）

ダビング中に表示情報を切り換える

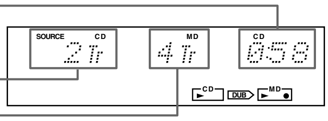
● INPUT ボタンを押すと、CD と MD の表示切り換えができます。

MD 情報（MD が点灯）



再生している CD の曲番
録音中の MD の曲番

CD 情報（CD が点灯）



再生している CD の曲番
録音中の MD の曲番

ダビングを止めるには

CD の再生が終わるか、MD の最後まで録音すると自動的に録音は止まります。途中で止めるときは、MD または CD の■ボタンを押します。

ダビングできないときは

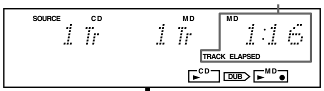
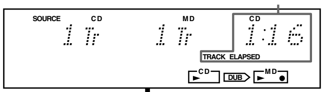
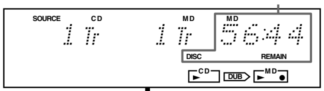
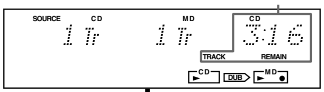
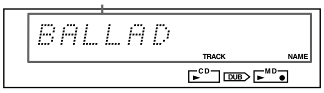
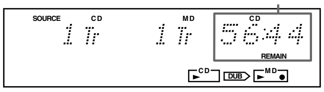
● **「Cannot Rec」と表示される**
再生用の MD です。録音用と交換してください。

● **「Protected」と表示される**
MD が記録不可状態になっています。
☞「MD（ミニディスク）について」（8 ページ）

● **「Disc Full」と表示される**
MD に録音の空きがありません。新しい MD と交換してください。

● **「CD Dub Fail」と表示される**
- しばらく待ってからもう一度 CD DUBBING ボタンを押してください。
- CD が RANDOM モードになっています。
MODE ボタンを押して RANDOM モードを解除してください。

● INPUTボタンで表示を切り換えた後、DIPSLAYボタンを押すと以下のように切り換わります。

MD情報のとき	CD情報のとき
録音している曲の経過時間	再生している曲の経過時間
	
ディスクの録音可能な残り時間	再生している曲の残り時間
	
録音している曲のタイトル※	ディスクの残り時間
	

※ 名前がついていないときは表示されません。
☞「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」(43ページ)

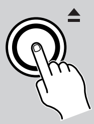
！ヒント

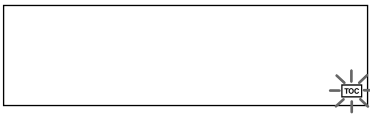
本機CDからMDへのダビングの場合は、自動的に曲番が記録されます。

CDダビング中のご注意

● 入力切り換えはできません。
● ▶/❚❚(再生／一時停止)、⏏(取り出し)などのボタンははたらきません。

5 (MD側) 録音が終わったら、MDの⏏(取り出し)ボタンを押す





MDに録音内容が記録され、録音が完了します。そのあとMDが排出されます。

TOC表示が点灯、点滅しているときは

曲番などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC = Table Of Contents）に書き込まれます。
以下のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。正しい記録ができません。(右記の「停電になったときは」も参照してください。)

● TOC表示が点灯しているとき
MDのTOCに書き込む情報が本体に一時保存されている状態です。
● TOC表示が点滅しているとき
MDに情報を書き込んでいる最中です。

MDの残り時間がなくなり、曲が途中で切れてしまったときは

● 1曲のみのアルバムダビングの場合は、曲が途中で切れても切れたところまで録音されます。
● 2曲以上のアルバムダビングの場合は、途中で切れた曲は自動的に消去されます。

録音結果を確かめる

録音終了後、または■ボタンで録音を停止したあとで、本体MDの▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの▶ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

停電になったときは

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いてしまった場合も消去されます。

「Retry Error」が表示されたときは

いったんMDを取り出して、再度録音し直してください。

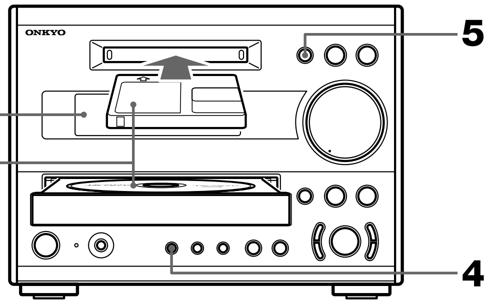
◆CDのディスク名のコピーについて

● CDにディスク名をつけていると(☞ 43ページ)、CDダビング時にディスク名がMDのディスク名としてコピーされます。(ただし、まったく録音されておらず、タイトルもついていないMDへのダビング時に限ります。)
● CDを1Tr(1曲)モードでCDダビングしたとき(☞ 41ページ)は、CDのディスク名が曲名としてコピーされます。
● ディスク名や曲名は表示部の表示切り換えで確認することができます。(☞ 23ページ、25ページ)

基本機能ですぐ楽しい

CDをMDに録音する（CD倍速ダビング）

- 通常の約半分の時間でダビングをすることができます。
- アルバムモードで録音されます。
- デジタルで録音されます。
- 途中まで録音してあるMDの場合、MDの最後の曲のあとに録音されます。曲番も、MDの最後の曲番のあとから順についていきます。



1

CDとMDをセットする

☞「CDを聞く」の手順 **1**（22ページ）
☞「MDを聞く」の手順 **1**（24ページ）
MDは録音用を選んでください。

2

録音時間を確認する

☞ 29ページ手順 **2**

3

録音モードを選ぶ

☞ 29ページ手順 **2-❹**

4

CD DUBBING



CD DUBBING（ダビング）ボタンを2回押してCD倍速ダビングを始める

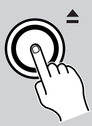
CD DUBBING（ダビング）ボタンは続けて2秒以内に押してください。

CD-MD×2 Dubbing　がスクロールします

CD倍速ダビング中に表示情報を切り換える

☞ 30ページ手順 **4**「ダビング中に表示情報を切り換える」

5



録音が終わったら、MDの⏏（取り出し）ボタンを押す

☞ 31ページ手順 **5**

ご注意

- CD倍速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。
- CDがREPEAT（リピート）再生モード、MEMORY（メモリー）再生モード、RANDOM（ランダム）再生モードになっているときは、CD倍速ダビングははたらきません。
- DLA LINK（リンク）は働きません。
- 録音レベルの調整（☞ 35ページ）はできません。

！ヒント

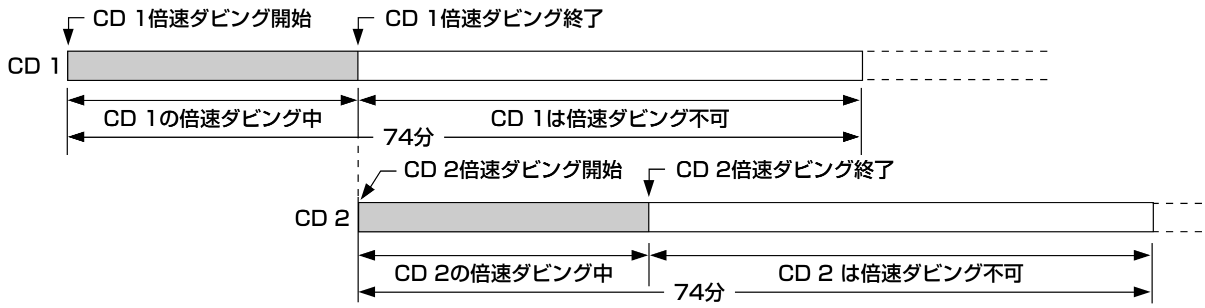
本機CDからMDへのCD倍速ダビングの場合は、自動的に曲番が記録されます。

CD倍速ダビング中のご注意

- 入力切り換えはできません。
- ▶/❚❚(再生／一時停止)、⏏(取り出し)などのボタンははたらきません。

◆CD倍速ダビングの制限について

CD倍速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD倍速ダビングをすることができません。（ただし、CD倍速ダビングは行うことができませんが、CDダビングはできます。）
同じCDを使ってのCD倍速ダビングは、1度目のダビング開始時から74分後に可能となります。CD倍速ダビングをしようとすると“Time Protect”と表示され、そのCDがCD倍速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例：“Wait 42 min”）
他のCDを使用する場合は、続けて録音することができます。また、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。



◆今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

CD 倍速ダビングはできません。

❶ **CD と MD をセットし、CD の ▶/❚❚ ボタンを押して再生を始める。**
MDは録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。

❷ **録音モードを選ぶ**
☞ 29 ページ手順 **2-❹**

❸ **CD 鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING ボタンを押す。**
聞いていた曲の頭から再生が始まり、ダビングが始まります。その曲のダビングが終わると MD は停止します。CD はそのまま再生を続けます。

◆CD のいろいろな再生を MD にダビングする

❶ **CD と MD をセットし、入力を CD にしたあといろいろな再生の設定をする。**
- MDは録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。
- MEMORY 再生（40 ページ）、1 TR（1 曲）再生（41 ページ）、REPEAT 再生（42 ページ）の設定をします。（設定と選曲のみで、再生はしません。）

❷ **録音モードを選ぶ**
☞ 29 ページ手順 **2-❹**

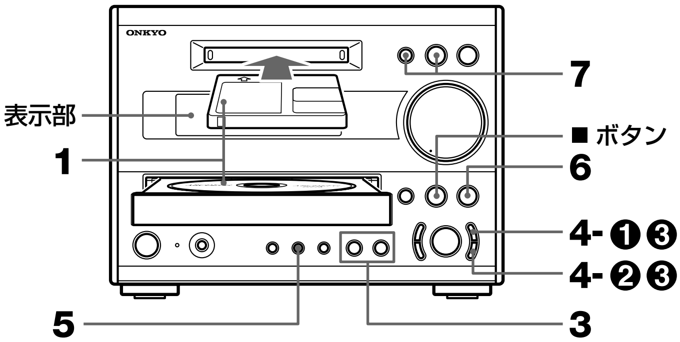
❸ **CD DUBBING ボタンを押す。**
CD → MD のダビングが始まります。

ご注意

- MEMORY 再生モード、REPEAT 再生モード、RANDOM 再生モードのときは、CD 倍速ダビングはできません。
- 1 曲のみのダビングの場合は、曲が途中で切れても、切れたところまで録音されています。
- 1TR 再生と組み合わせるときは、選曲しても CD の 1 曲目のみのダビングになります。
- CD を 1 曲だけ REPEAT 再生モードでデジタル録音すると曲番がつかない場合があります。

CDをMDに録音する（シンクロ録音）

- CDの選曲をしながら編集録音したりするときに便利です。
- デジタルまたはアナログで録音することができます。
- 途中まで録音してあるMDの場合、MDの最後の曲のあとに録音されます。曲番も、MDの最後の曲番のあとから順についていきます。



1 CDとMDをセットする

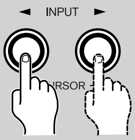
☞「CDを聞く」の手順**1**（22ページ）
☞「MDを聞く」の手順**1**（24ページ）
MDは録音用を選んでください。

！ヒント
表示部に「MD Reading（リーディング）」が表示されている間は、シンクロ録音を開始することができません。

2 録音時間を確認する

☞ 29ページ手順**2**

3

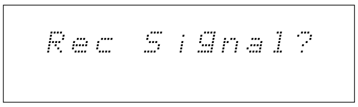


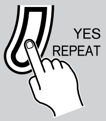
INPUT（インプット）ボタンを（くり返し）押して「CD」を表示させる

4 デジタル録音またはアナログ録音を選ぶ

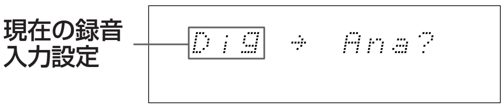


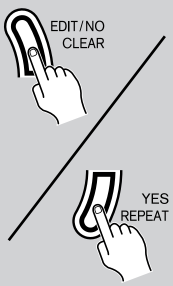
❶ **EDIT**（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリアー）ボタンを（くり返し）押して、「Rec Signal?（レック シグナル）」を表示させる





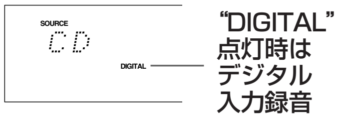
❷ **YES**（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す
「Dig（デジタル）→Ana?（アナログ）」または「Ana（アナログ）→Dig?（デジタル）」どちらかの現在の設定が表示されます。





❸ 現在の設定を変更しない場合はEDIT（エディット）/**NO**（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押す。変更する場合は**YES**（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す
「Dig（デジタル）→Ana?（アナログ）」と表示された後、**YES**（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押すとアナログ入力録音となり、「Ana（アナログ）→Dig?（デジタル）」と表示された後、**YES**（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押すとデジタル録音となります。
「Complete（コンプリート）」と表示され、設定が完了します。

！ヒント
CD表示のときに“DIGITAL（デジタル）”が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。



すでに希望の入力に設定されている場合は、手順5を行ってください。

5



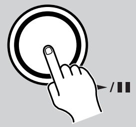
●REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする

録音待機状態にならないときは
☞「ダビングできないときは」（30ページ）

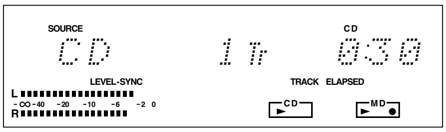
録音レベルを調整するときは
☞ 次ページ

レベルシンクのオン、オフをするときは
☞「曲番をつける－レベルシンク」（37ページ）

6 （CD 側）



CD を再生する



録音中に曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

！ヒント

録音中、DISPLAY ボタンで MD の経過時間、残り時間を確認することができます。（☞31 ページ）

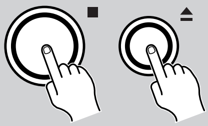
CD を一時停止して選曲する

MD も録音待機状態になります。リモコンの ⏮／⏭ ボタンや、本体の MULTI JOG ダイヤルを回して CD の曲を選び、再び CD の ►/❚❚ ボタン、またはリモコンの ► ボタンを押すと、MD の録音も再開します。

CD を交換するために録音を停止するときは

CD の■ボタンを押すと、MD は録音待機状態になります。ただし、MD の■ボタンを押すと MD は停止しますが、CD は再生を続けます。

7 （MD 側）



録音が終ったら、MDの■（停止）ボタンを押し、MDの ▲（取り出し）ボタンを押す

「TOC」が点滅して MD に録音内容が記録されたあと、MD が排出されます。

●CDを停止させる場合は、CDの■（停止）ボタンを押してください。

TOC 表示が点灯、点滅しているときは

☞ 31 ページ

録音結果を確かめる

☞ 31 ページ

◆録音レベルを調整するときは

録音レベルが適当でないときは録音レベルを調節してください。録音中または録音待機中にINPUTボタンを押してMD表示にし、以下の操作をします。

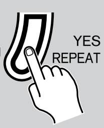
●デジタル入力録音時

1



EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押して、「Rec Level?」（録音レベル）を表示する

2



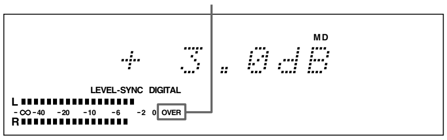
YES/REPEAT ボタンを押す

3



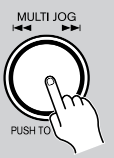
MULTI JOGダイヤルを回して録音レベル（Rec Level）を調節する

OVERが点灯しないように調整する。



調節範囲は－ 10.0dB から＋ 10.0dB です。－ 5.0dB から＋ 5.0dB の範囲では 0.5dB 間隔で、それ以外の範囲では 1.0dB 間隔で調節できます。

4



MULTI/JOG ダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示されます。YES/REPEAT ボタンを押しても同じです。

●アナログ入力録音時

1



EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Rec Level?」（録音レベル）を表示する

2



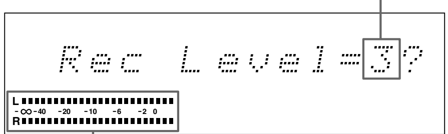
YES/REPEAT ボタンを押す

3



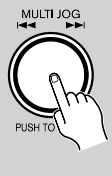
MULTI JOGダイヤルを回して録音レベル（Rec Level）を調節する

１～４の範囲で調整できます。



入力レベルが一番高いときに、－６～－２（dB）の間で点灯するように調整する。

4

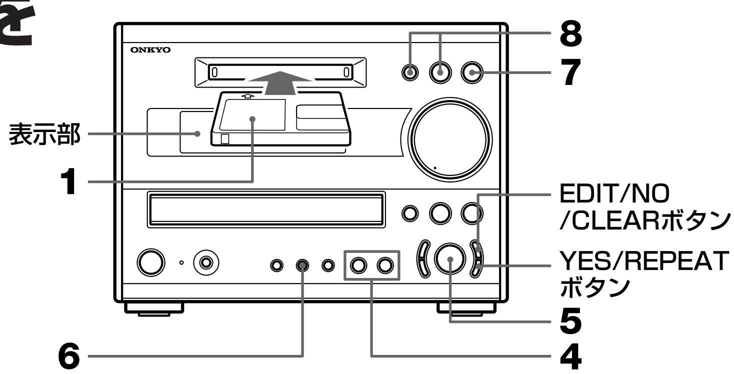


MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示されます。YES/REPEAT ボタンを押しても同じです。

FM ／ AM 放送をMD に録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞ 29ページ手順**2-❹**）を切り換えて使うと便利です。



1

MD をセットする

☞ 24 ページ、手順 **1**
MD は録音用を選んでください。

2

MD の録音可能時間を確認する

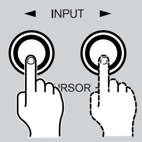
☞ 29 ページ、手順 **2**

3

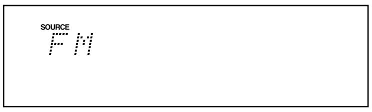
録音モードを選ぶ

☞ 29 ページ手順 **2-❹**

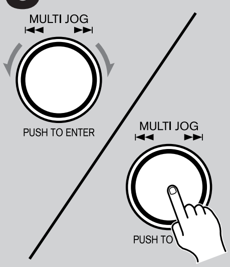
4



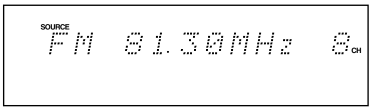
INPUT（インプット） ボタンを（くり返し）押して、「FM」または「AM」にする



5



MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回すか、ダイヤルを(くり返し)押してプリセットチャンネルを選ぶ



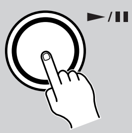
6



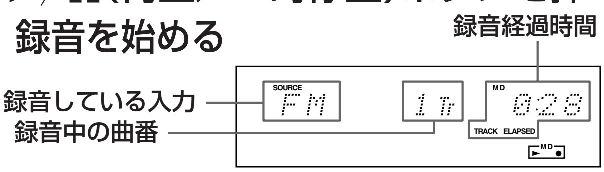
● REC（レック） ボタンを押して、録音待機状態にする



7 （MD 側）



MDの►/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押して、録音を始める



録音中に曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで● REC（レック） ボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約 4 秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音待機状態にならないときは

☞「ダビングできないときは」（30 ページ）

録音レベルを調節するときは

☞ 35 ページ

レベルシンクのオン、オフをするときは

☞「曲番をつける－レベルシンク」（次ページ）

！ヒント

録音中、DISPLAY（ディスプレイ） ボタンで MD 情報を切り換えることができます。（☞ 31 ページ）

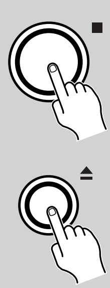
録音を止めるには

MD の最後まで録音すると自動的に止まります。途中で止めるときは MD の■ボタンを押します。

一時停止するには

MD の ►/❚❚ ボタンを押します。表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

8 （MD 側）



録音が終わったら、MDの■（停止）ボタンを押し、MDの▲（取り出し）ボタンを押す

「TOC」が点滅して MD に録音内容が記録されたあと、MD が排出されます。

TOC 表示が点灯、点滅しているときは

☞ 31 ページ

録音結果を確かめる

☞ 31 ページ

◆曲番をつける－レベルシンク

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短かすぎるとつかないことがあります。）
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、36 ページ手順 **7** の「録音中に曲番を好きなところにつけたいときは」を行います。
- LEVEL-SYNC 表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにすると LEVEL-SYNC 表示は消えます。）

LEVEL-SYNC 表示



オン、オフを切り換えるときは、録音待機中、または録音中に以下の操作をします。（途中、変更するのをやめるときは、EDIT/**NO**/CLEAR ボタンを押してください。）

また、ディスクを挿入する前にオン、オフの切り換えができます。

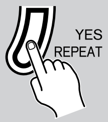
1



EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Level Sync?」を表示する

Level Sync? LEVEL-SYNC

2

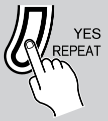


YES/REPEAT ボタンを押す

On→Off?

「On → Off?」、または「Off → On?」が表示されます。

3



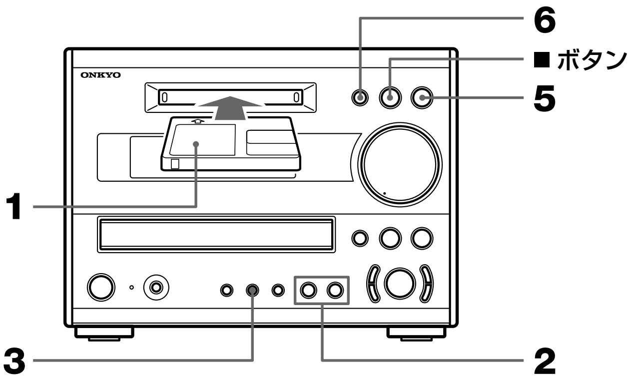
YES/REPEAT ボタンを押す

Level SyncOff

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。

外部機器を MD に録音する

14ページで接続した外部機器を MD に録音します。
接続した機器により、アナログ入力／デジタル入力を録音することができます。



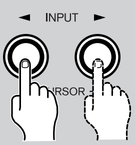
1

MD をセットする

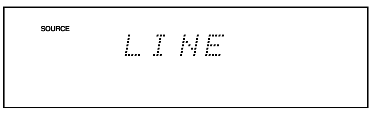
MDは録音用を選び、記録不可状態を解除しておいてください。

2

INPUT ボタンを(くり返し)押して、 録音する機器を選ぶ



CD-R ←→ TAPE ←→ LINE ←→ DIGITAL
↕ ↕
AM ←→ FM ←→ MD ←→ CD



ご注意

- 名称を変えると、その名称が表示されます。（☞ 55ページ）
- デジタル端子接続をしていない場合や、外部機器の電源が入っていないときに、DIGITALを選ぶと、DIGITAL表示が点滅します。

3

● REC ボタンを押して、録音待機状態にする



ご注意

「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

録音待機状態にならないときは

☞ 「ダビングできないときは」（30ページ）

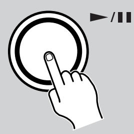
4

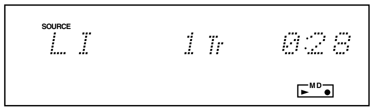
録音する機器の再生を始める

外部デジタル入力で録音レベルを調整すると、モニター音も変化します。

5

MD の ►/❚❚ ボタンを押して、録音を始める





レベルシンクのオン、オフをするときは

☞ 「曲番をつける－レベルシンク」（37ページ）

録音中に曲番を好きなところで付けたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

MDを一時停止するときは

MDの►/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

MDを停止するときは

MDの最後まで録音すると自動的に停止します。中断するときは、MDの■ボタンを押します。

録音レベルを調節するときは

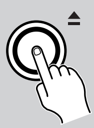
☞ 35ページ、同項目

録音結果を確かめる

☞ 31ページ、同項目

6

録音が終わったら、MD の ⏏ ボタンを押す



☞ 「TOC 表示が点灯、点滅しているときは」（31 ページ）

デジタル録音について

本機にはサンプリング･レート･コンバーターが搭載されていますので、CD(44.1kHz)以外の、デジタル外部機器(DATや衛星放送など)からのデジタル信号(32kHzや48kHz)も録音することができます。

◆シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的に MD 録音を開始する機能です。

❶ **前ページ手順 1 ～ 3 を行う。**

通常の録音待機状態になっています。

❷ **● REC ボタンを押す。**

`Signal Rec`

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。

❸ **外部機器の再生を始める。**

外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。

（☞ 前ページの手順**5**を行う必要はありません。）

❹ **前ページ手順 6 を行う。**

シグナルウエイト機能について

録音中に外部機器からの入力信号が４秒以上（REC MODE を LP4 に設定している場合は８秒以上）途切れると、自動的に録音待機状態となり「Signal Wait」が点滅し、曲番が更新されます。

`Signal Wait`

約 25 秒以内に入力信号が再び入ってくると自動的に録音を再開します。（26 秒以上過ぎると通常の録音待機状態に戻ります。）
ただし、CD ダビンク、CD 倍速ダビングで録音するときは、入力信号を待ち続けます。

ご注意

- この機能はレベルシンクをオンにしているときにはたらきます。レベルシンクをオフにしているとはたらきません。
（☞「曲番をつける－レベルシンク」、37 ページ）
- シグナルシンクロ録音をするとレベルシンクはオンになります。
- 曲番を自動的につけるには、デジタル信号の中に、曲の初めと終わりを認識させるための信号が含まれている必要があります。機器や放送の中にはこの信号を出さないものがあります。この場合は曲番は自動的につきません。

オンキヨー製カセットテープデッキK-SX7とのシステム録音操作

別売のオンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7 を本機に接続すると（☞ 14 ページ）、以下のような操作ができます。

- 本機 CD から K-SX7 へのシンクロ録音
- 本機 MD から K-SX7 へのシンクロ録音
- K-SX7 から本機 MD へのシンクロ録音

本機 CD や MD から K-SX7 へのシンクロ録音の手順については、K-SX7 の取扱説明書をご覧ください。
ここでは、K-SX7 を本機にシンクロ録音する手順を説明します。

K-SX7 から MD へのシンクロ録音をする

本機が録音待機状態になっているときに K-SX7 を再生すると、入力が自動的に TAPE に切り換わり、K-SX7 から MD へのシンクロ録音が始まります。

`Synchro Rec`

シンクロ録音を中断するには

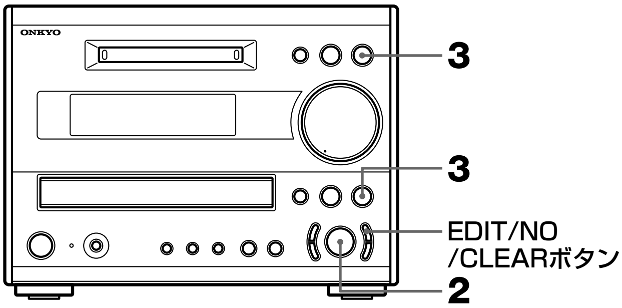
K-SX7 の再生を停止します。本機 MD は、録音待機状態になります。

CD ／ MD のいろいろな再生

基本編の再生以外に、5 つのモードとその組み合わせによる様々な再生をお楽しみいただけます。
CD または、再生専用か録音済みの MD を本体にセットしておいてください。CD も MD も同じ手順でできます。

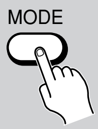
◆ MEMORY 再生

曲を指定し（CD、MD それぞれ 25 曲まで）、その順序で再生します。

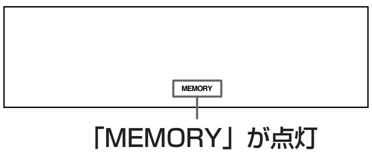


入力がCD／MDで停止中に

1（リモコン）



リモコン(RC-465S)のMODEボタンを(くり返し)押して、「MEMORY」を表示する



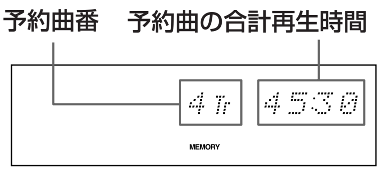
「MEMORY」が点灯

2



MULTI JOG ダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。



間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

お知らせ

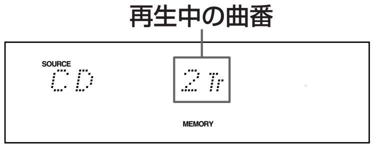
予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、MEMORY再生に支障はありません。
CD：100分以上になると「--:--」となります。
MD：512分以上になると「---:--」となります。
CDの21曲目以降の曲を予約したときに、総残り時間表示にした場合も「--:--」と表示されます。

3



CD または MD の ►/❚❚ ボタンを押す

MEMORY 再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。



予約した曲のなかで選曲する

再生中にMULTI JOGダイヤルを回すか、（くり返し）押すと、予約した曲順での選曲ができます。

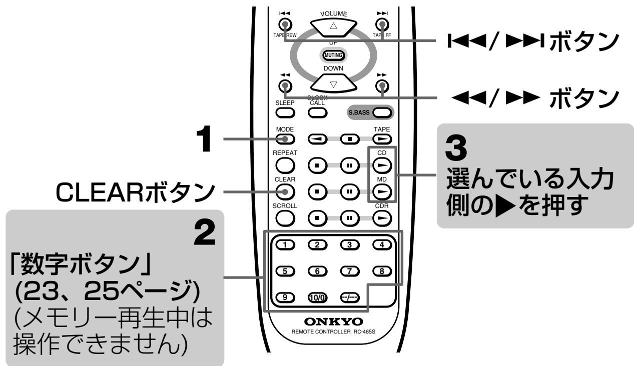
予約した内容を確認するには

停止中にリモコンの◄◄／►►ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- MEMORY再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを押すと、押すごとに最後の予約曲から取り消されます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

リモコンで操作する



予約した曲のなかで選曲する

再生中にI◄◄／►►Iボタンを押すと予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

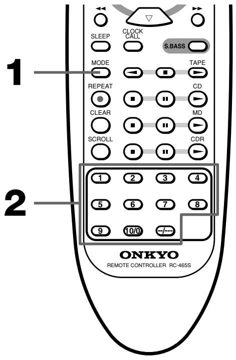
停止中に◄◄／►►ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- MEMORY再生モードの停止中に、CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

◆ 1TR（ワン トラック）（1曲）再生（リモコン操作のみ）

1 曲のみを選んで再生します。

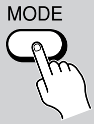


CD／MDの再生中、一時停止中に

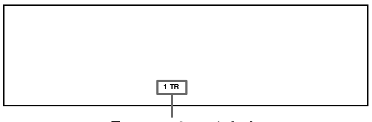
リモコン（RC-465S）の MODE（モード） ボタンを（くり返し）押して、表示部に「1TR（ワン トラック）」を点灯させます。

入力がCD／MDで停止中に

1

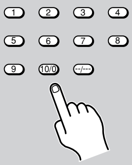


リモコン(RC-465S)のMODE（モード）ボタンを(くり返し)押して、「1TR（ワン トラック）」を表示する



「1TR」が点灯

2



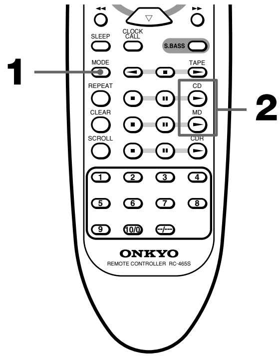
数字ボタンを押して曲を選ぶ

1TR（ワン トラック）（1 曲）再生が始まります。

● 再生が終ると停止します。

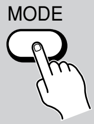
◆ RANDOM（ランダム）再生（リモコン操作のみ）

曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。

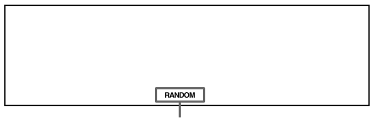


入力がCD／MDで停止中に

1



リモコン(RC-465S)のMODE（モード）ボタンを(くり返し)押して、「RANDOM（ランダム）」を表示する



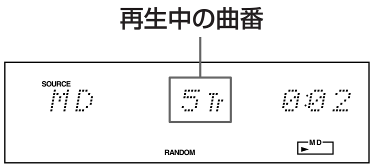
「RANDOM」が点灯

2



CD または MD の ► ボタンを押す

RANDOM（ランダム） 再生が始まります。



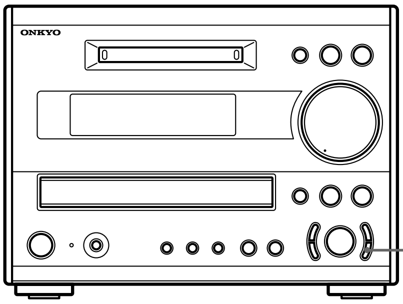
ご注意

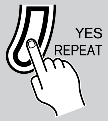
21曲以上入っているディスクをランダム再生中に総残り時間表示にした場合、表示は「－－：－－」となります。

CD／MDのいろいろな再生（つづき）

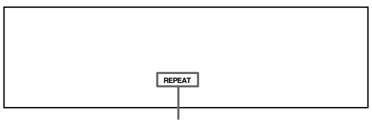
◆ REPEAT／CHAIN REPEAT再生

● REPEAT再生はCD、MDのどちらかをくり返し再生します。
CHAIN REPEAT再生はCD、MDを交互にくり返して再生します。
● 入力がCDまたはMDのときに、再生、一時停止、停止中に関係なくこのモードを設定することができます。
● 1 TR（1曲）再生、MEMORY再生、RANDOM再生、通常再生と組み合わせて使うことができます。
「CHAIN REPEAT」のときは、CD、MD別々にそれぞれの再生モードと組み合わせられます。





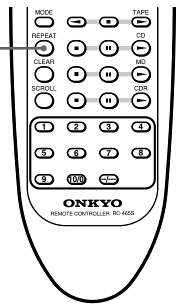
YES/**REPEAT**ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「CHAIN REPEAT」を点灯させる



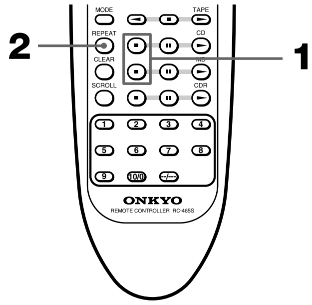
「REPEAT」または「CHAIN REPEAT」が点灯

REPEAT／CHAIN REPEAT再生モードになります。

リモコンで操作する

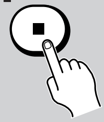


◆ 通常再生にもどす



1 TR（1曲）、MEMORY、RANDOM再生を取り消す（リモコンのみの操作です）

1



CDまたはMDの■ボタンを押して再生を止める

2



リモコン(RC-465S)のMODEボタンを(くり返し)押して、「1 TR」、「MEMORY」、「RANDOM」のいずれも表示されていない状態にする

REPEAT、CHAIN REPEAT再生を取り消す（リモコン、本体どちらでも操作できます）



リモコンのREPEATボタンまたは本体のYES/**REPEAT**ボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」、「CHAIN REPEAT」のどちらも表示されていない状態にする

CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける

CD にはディスク名、MD にはディスク名や曲名、FM や AM のプリセットチャンネルにはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけ、表示部で確認することができます。

◆ CD にディスク名をつける

CD をセットし、入力を CD にして停止状態で「文字を入力する」（右項）を行います。

- 最大 28 文字の名前がつけられます。
- 16枚分のCDにディスク名をつけられます。（本体のメモリーに記憶されます。）

ご注意

MEMORY、RANDOM、1TRの表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。

◆ MD にディスク名や曲名をつける

- アルファベットのみの場合は最大100文字までの名前がつけられます。
- MDに記録されるので特に枚数制限はありません。
- 記録不可状態を解除しているMD（誤消去防止孔が閉じた状態の MD）をセットしてください。

❶ MD をセットし、入力を MD にします。

❷ ディスクに名前をつけたいときは「文字を入力する」（右項）へ、曲に名前をつけたいときは曲を選び、「文字を入力する」（右項）を行います。

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。（☞ 8ページ）
- ディスクに名前をつけるときは、特定の曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MDの■ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。INPUTボタンでディスプレイを「MD」に切り換えてその曲が終わるまでに文字入力を終わってください。次の曲に移ってしまうと、文字入力が無効になります。



MD表示

- MEMORY、RANDOM、1TRの表示が点灯している場合は、ディスク名や曲名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、31ページ）

◆ プリセットチャンネルに名前をつける

FM または AM のプリセットチャンネルを選び、「文字を入力する」（右項）を行います。

8 文字までの名前がつけられます。

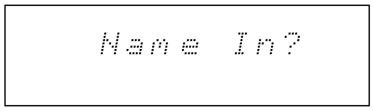
◆ 文字を入力する

CD のディスク名、MD のディスク名や曲名、FM や AM のプリセットチャンネルの名前、いずれも共通の操作で名前を入力することができます。

1



EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Name In?」を表示する



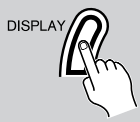
2



YES/REPEAT ボタンを押す

文字入力モードに入ります。
名前の入力をやめるときは EDIT/NO/CLEAR ボタンを押しながら、YES/REPEAT ボタンを押します。

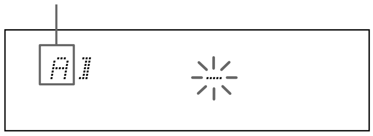
3



DISPLAY ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。
希望する文字の種類が最初から表示されている場合はこの手順は不要です。

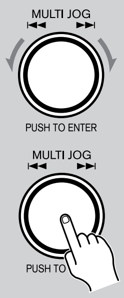
文字の種類の表示



→ A（大文字のアルファベット）※1
↓
a（小文字のアルファベット）※1
↓
1（数字／記号）※1
↓
ア（カタカナ）※1
↓
♪（カンタンネーム）※2

※1 ☞「入力できる文字」（次ページ）
※2 プリセットチャンネルのネーム入力時には表示されません。
☞「カンタンネームについて」（次ページ）

4



MULTI JOG ダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する

この手順をくり返して名前を入力します。
途中で文字の種類を変える場合は、手順 **3** を行います。

➡ 次ページへ続く

CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける（つづき）

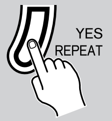
入力を間違えたときは

☞ 文字を訂正する／消去する

文字の間に追加文字を入れるときは

☞ 文字を挿入する

5



入力が終わったら、YES/REPEAT ボタンを押す

Complete

「Complete」（完了）が表示されます。

名前の入力をやめるときは EDIT/NO/CLEAR ボタンを押しながら、YES/REPEAT ボタンを押します。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
> <) (; : _ $ % & + − ＊ ／ = ? ! ' " . , ␣(空白) M(挿入)
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

カンタンネームについて

以下のようなネームが用意されています。文字を選ぶのと同じ要領で下記の中から選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	［ofの後ろには空白(␣)が1文字分入ります。］	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

◆ 文字を訂正する／消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 **1** と **2** を行ってください。

❶ **CURSORボタンを(くり返し)押して、 訂正または消去する文字を点滅させる。**

❷ ● **訂正するときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 3、4 にしたがって正しい文字を入力する。**
● **消去するときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押す。**

続けて文字を挿入する場合は手順 **3** を、終るときは手順 **5** を行ってください。

◆ 文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 **1** と **2** を行ってください。

❶ **CURSORボタンを(くり返し)押して、 文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる。**

DEAM

❷ **MULTI JOG ダイヤルを回して「M」を表示し、ダイヤルを押す。**

DMEAM

❸ **「文字を入力する」の手順 3、4 にしたがって挿入する文字を入力する。**

DREAM

続けて文字を挿入する場合は手順 **3** を、終るときは手順 **5** を行ってください。

◆ CD や MD につけた名前を消去する

MD の場合はすべての曲名とディスク名を消去します。

❶ **停止中に入力を CD または MD にする。**

❷ **EDIT/NO/CLEAR ボタンを押して、「Name Erase?」を表示させる。**

❸ **YES/REPEAT ボタンを押す。**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

CD の場合は CD をセットしていなくてもディスク名を消去できます。

❶ **停止中に入力をCDにしてEDIT/NO/CLEARボタンを押す。**
「Name Erase?」が表示されます。

❷ **YES/REPEAT ボタンを押す。**
ディスク名がスクロールしたのち点滅表示にかわります。

❸ **MULTI JOG ダイヤルを回して消去したいディスク名を選ぶ。**

❹ **YES/REPEAT ボタンを押す。**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

◆ プリセットチャンネルにつけた名前を消去する

❶ **入力を AM または FM にする。**

❷ **MULTI JOG ダイヤルを回して名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ。**

❸ **EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Name Erase?」を表示させる。**

❹ **YES/REPEAT ボタンを押す。**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

録音したMDの編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）／消去をする

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

◆ 編集／消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase

MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。（BLANK DISCになります。）

曲を消去する－Erase

1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move

1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide

1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine

1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

◆ 編集／消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する

（Divide ＋ Erase）

消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ

（Move ＋ Combine）

Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combineについてのご注意

Combineはデジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。（「Impossible」と表示されます。）

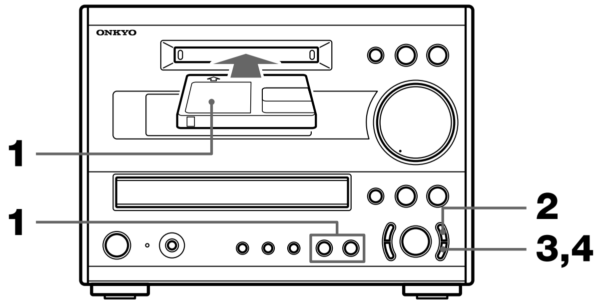
また、Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能で異なる録音モードで録音した曲もつなぐことができません。（例えば、MONOモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません）

編集／消去についてのご注意

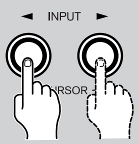
- 編集／消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、31ページ）
- MEMORYまたは、RANDOM、1TR表示が点灯しているときは編集できません。通常再生モードにしてください。（☞「通常再生にもどす」、42ページ）

◆ 全曲消去する－All Erase

- MDが停止しているときに操作できます。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。



1



MDをセットして、INPUTボタンを（くり返し）押し入力をMDにする

MDは録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。

2



EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押して、「All Erase?」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

```
All Erase?
```

3



YES/REPEATボタンを押す

```
All Erase??
```

再確認のため、「All Erase??」（本当に消去していいですか?）が表示されます。

4



YES/REPEATボタンを押す

```
Complete
TOC
```

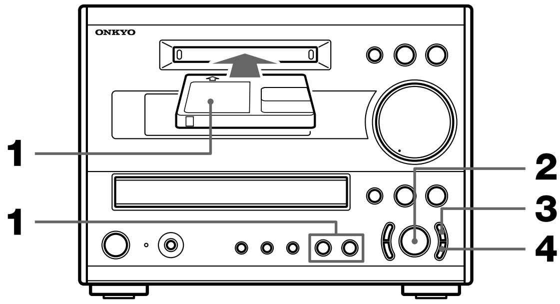
MDの曲がすべて消去され、「Complete」（完了）が表示されます。

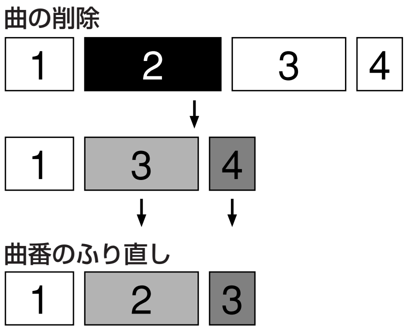
➡ 次ページへ続く

録音した MD の編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）／消去をする（つづき）

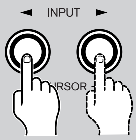
◆ 1 曲選んで消す－ Erase（イレーズ）

- MD が停止中、一時停止中に操作できます。
- 途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。





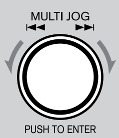
1



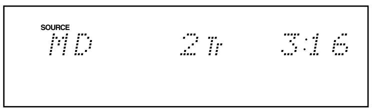
MD をセットして、INPUT（インプット）ボタンを（くり返し）押し入力をMDにする

MD は録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。

2



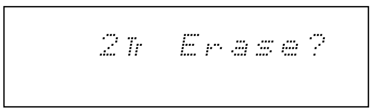
MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して消す曲を選ぶ



3



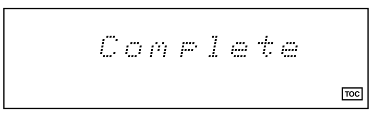
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを（くり返し）押して、「Erase?（イレーズ?）」を表示する



4



YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す

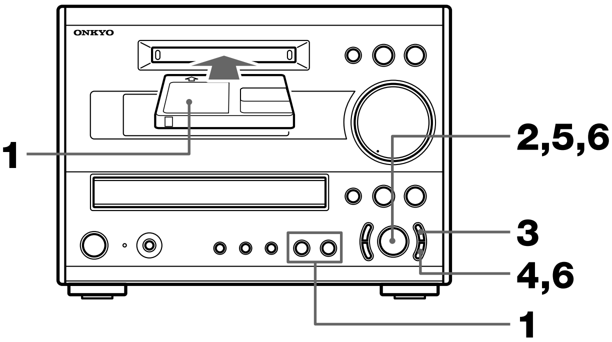


曲が消され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

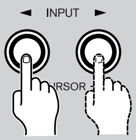
曲番は新たにふり直されます。

◆ 曲を移動する－Move（ムーブ）

- MDの停止中、一時停止中に操作できます。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。



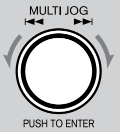
1



MDをセットして、INPUT（インプット）ボタンを(くり返し)押し入力をMDにする

MDは録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。

2



MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

```
SOURCE
MD      2Tr   3:16
```

3



EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを（くり返し）押して、「Move?（ムーブ?）」を表示する

```
2Tr  Move?
```

4



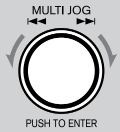
YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す

```
Move: 2→1?
```

この曲番になります。

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。移動先の曲番の入力待ちになります。

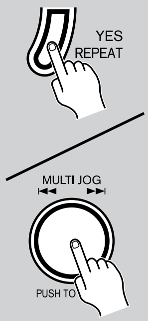
5



必要なときは、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して移動先の曲番を変える

```
Move: 2→4?
```

6

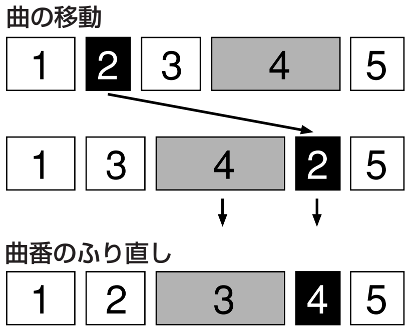


YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンまたはMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押す

```
Complete
TOC
```

指定した曲が移動し、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。



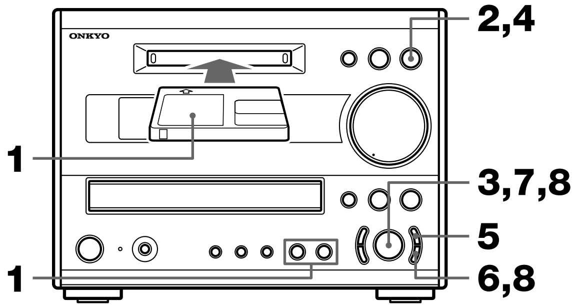
いろいろな機能を使ってみる

➡ 次ページへ続く

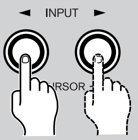
録音したMDの編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）／消去をする（つづき）

◆ 曲を分ける－ Divide

- MDの再生中、一時停止中に操作できます。
- 曲名がついているとき（☞ 43ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。



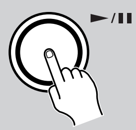
1



MDをセットして、INPUTボタンを（くり返し）押し入力をMDにする

MDは録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。

2



MDの▶/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。

3

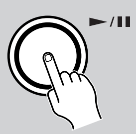


MULTI JOGダイヤルを回して分ける曲を選ぶ

リモコンの◀◀または▶▶ボタンで早戻し／早送りができます。

SOURCE
MD 2Tr 300

4



分けたいところでMDの▶/❚❚ボタンを押す

一時停止になります。

5



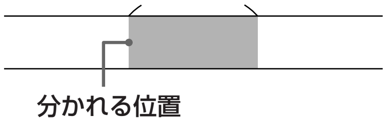
EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押して、「Divide?」を表示する

2Tr Divide?

6



YES/REPEATボタンを押す



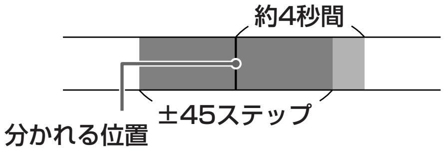
「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

7



音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

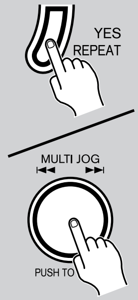
その曲内で数値 －45～＋45（SP時±約3秒）の間で調整できます。



分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

8

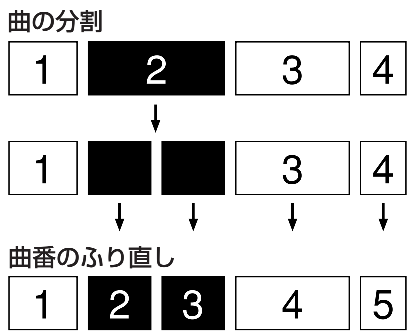


YES/REPEATボタンまたはMULTI JOGダイヤルを押す

Complete
TOC

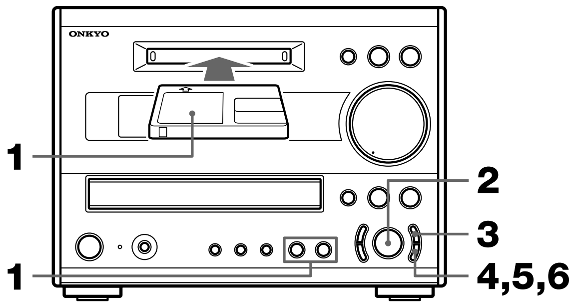
曲が2つに分かれ、「Complete」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

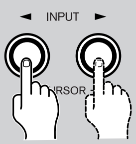


◆ 曲をつなぐ – Combine

- MDの停止中、再生中、一時停止中に操作できます。
- 前の曲に曲名がついている場合のみ、その曲名がCombine 後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。



1



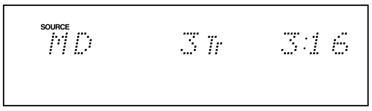
MD をセットして、INPUT ボタンを（くり返し）押し入力をMDにする

MD は録音用で、記録不可状態を解除しておいてください。

2



MULTI JOG ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

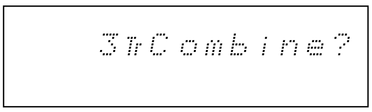


選んだ曲が、1 つ前の曲とつながることになります。したがって、1 曲目は選ぶことはできません。

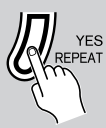
3



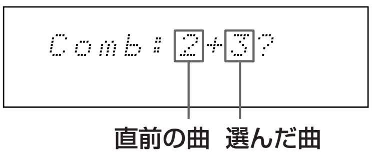
EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Combine?」を表示する



4



YES/REPEAT ボタンを押す



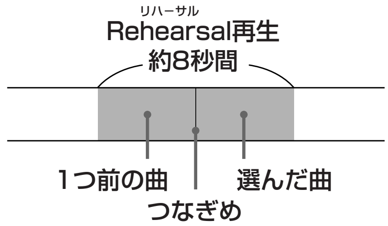
選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5



YES/REPEAT ボタンを押す

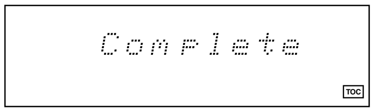
「Rehearsal」（確認再生中）と「Track OK?」（つないでいいですか?）が交互に表示され、曲のつなぎめの前後合計約８秒間がくり返し再生されます。



6

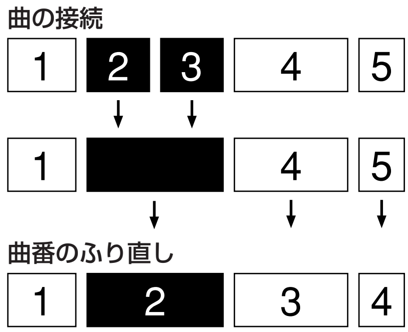


YES/REPEAT ボタンを押す



曲がつながり、「Complete」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。



タイマー機能を使う

SLEEP タイマー、ONCE タイマー、WEEKDAY タイマー、WEEKEND タイマー、REC タイマーの5つがあります。

◆ いろいろなタイマー機能の紹介

Sleepタイマー

音楽や放送を聞きながら眠ったりするときなどに使います。時間がくると自動的に電源が切れます。

Once、Weekday、Weekendタイマー

- 設定してある開始時刻になると、自動的に電源が入り、設定した入力（CD、または MD、FM、AM、CD-R※、TAPE※、LINE※、DIGITAL※）になります。
  - 入力に CD や MD を設定したとき、また別売のオンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7 を接続して TAPE を設定したときは、再生が始まります。
  - 入力に FM ／ AM 放送を設定したときは、設定したプリセットチャンネルの放送がオンになります。

  ※ 名称を変えるとその名称が表示されます。（☞ 55 ページ）
- 終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- Once タイマーは 1 度だけはたらきます。
- Weekday タイマーは毎週月～金曜日（初期設定）の、指定した同じ時刻にはたらきます。（曜日の設定は変更できます。）
- Weekend タイマーは毎週土、日曜日（初期設定）の、指定した同じ時刻にはたらきます。（曜日の設定は変更できます。）

Recタイマー

- 設定した曜日の開始時刻になると、自動的に電源が入り、設定した入力から設定した機器への録音が始まります。

  Recタイマーには以下の2通りの設定があります。

  Once：設定した時刻に一度だけタイマー録音を行います。

  Every：毎日同じ時刻にタイマー録音を行います。（曜日の設定は変更できます。）

  録音機器には以下の機器が選べます。
  - 本機 MD
  - 別売のオンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7
  - 本機 MD と別売のオンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7 の両方
- 終了時刻になると自動的に電源が切れます。

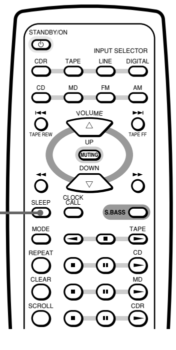
！ヒント

録音中はMUTING機能がはたらいて音声がごく小さくなります。Recタイマー中に音声を聞きたいときは、リモコンのMUTINGボタンまたはVOLUME ▲/▼ボタンを押して、機能を解除してください。

◆ Sleep タイマーを使う

リモコンで操作する

10 分単位の時間設定が可能です。



SLEEPボタン

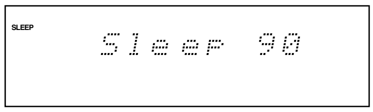
SLEEP



音楽、FM ／ AM 放送鑑賞中に SLEEP ボタンを押す

「Sleep 90」が表示され、90 分後に電源が切れる設定になります。

ボタンを押すごとに 10 分単位で時間が短くなります。



残り時間を確認するには

Sleep タイマーがはたらいているときに、SLEEP ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます

ただし、残り時間が 10 分以下の表示ときに再び SLEEP ボタンを押すと Sleep タイマーは解除されます。

Sleep タイマーを解除するには

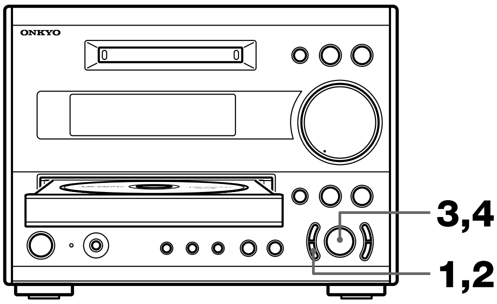
「Sleep off」の表示が出るまで SLEEP ボタンを（くり返し）押します。

CDダビングを終わらせてから自動的に電源が切れるようにするには

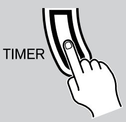
CD から MD や、別売のオンキヨー製カセットテープデッキ K-SX7、CD-R との CD ダビング中に Sleep タイマーをはたらかせると、ダビングが終了してから電源が切れます。この機能を利用して、寝る前や、外出前に CD ダビングを始めることができます。

本体で操作する

10分単位と1分単位の時間設定が可能です。



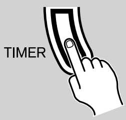
1



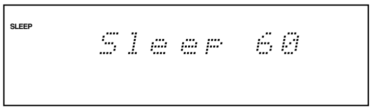
音楽、FM／AM放送鑑賞中にTIMERボタンを1秒以上押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

2



時間を90分以下にしたいときは、TIMERボタンを押す



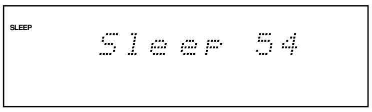
押すごとに、10分ずつ時間が短くなります。

90→80→....→10→off

3



1分ごとに時間を設定したいときは、MULTI JOGダイヤルを回す

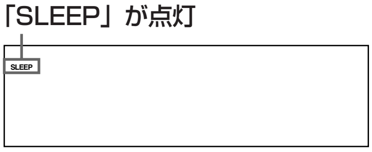


手順2で設定した時間を基準にして右に回すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。左に回すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。

4

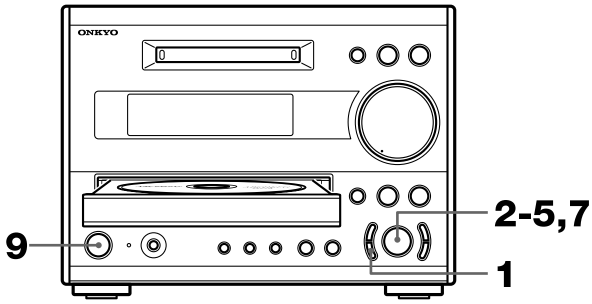


MULTI JOGダイヤルを押す

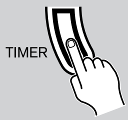


Sleepタイマーが作動開始します。

◆ Once、Weekday、Weekend、Rec各タイマーを設定する



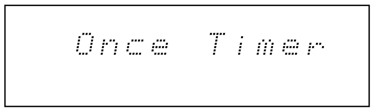
1



TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマーを選ぶ

→ Once Timer → WeekdayTimer → WeekendTimer → Rec Timer → Clock※→通常表示

※ 時計設定（☞ 18ページ）
ここでは選びません。



2



MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して入力を選ぶ

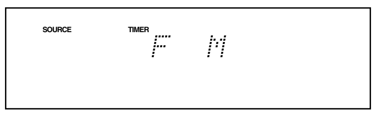
- **Once、Weekday、Weekendタイマーのとき**

  CD ⇔ MD ⇔ FM ⇔ AM ⇔ CD-R※ ⇔ TAPE※
  ⇕ ⇕
  DIGITAL※ ⟺ LINE※

- **Recタイマーのとき（録音元を選ぶ）**

  FM ⟺ AM
  ⇕ ⇕
  DIGITAL※ ⇔ LINE※

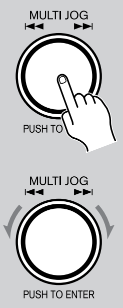
※ 名称を変えるとその名称が表示されます。（☞ 55ページ）
LINEはタイマー機能をもつ機器を接続してください。



➥ 次ページへ続く

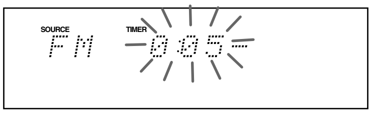
タイマー機能を使う（つづき）

3

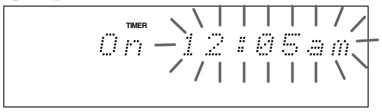


MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して開始時刻を選ぶ

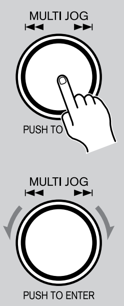
24時間表示



12時間表示

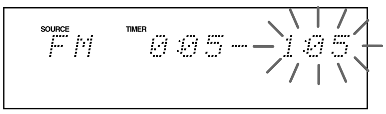


4

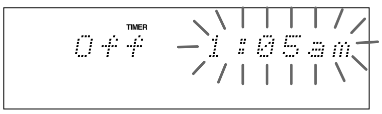


MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して終了時刻を選ぶ

24時間表示

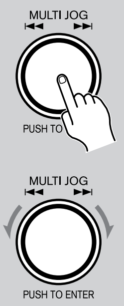


12時間表示



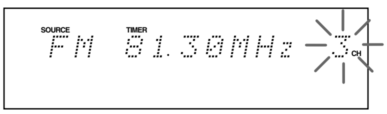
MULTI JOGダイヤルを押したあとは、開始時間より1時間プラスされた時刻が終了時刻として表示されます。

5



- **手順2で入力にFMまたはAMを選んだときは**

MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ



- **FM、AM以外の入力を選んだときは、**

  次の手順に進んでください。

6

- **Weekday、Weekendタイマーの場合**

  「Weekday、Weekendタイマーの曜日設定を変える」（次ページ）を実行する

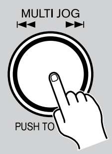
- **Recタイマーの場合**

  「Recタイマーの曜日設定と、録音先の選択をする」（次ページ）を実行する

- **Onceタイマーの場合**

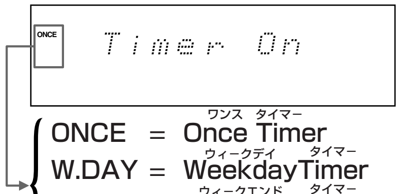
  次の手順に進んでください。

7



MULTI JOGダイヤルを押す

「Timer On」が表示され、設定したタイマーがオンになります。



ONCE = Once Timer
W.DAY = WeekdayTimer
W.END = WeekendTimer
REC = Rec Timer

他のタイマーの設定をするときは、手順**1**から始めます。

8

設定した入出力の準備をする

- Once、Weekday、Weekendタイマーで選んだ入力の再生準備（CDをセットするなど）をしてください。MDのタイマー再生でMEMORYモード、RANDOMモードを設定しても、タイマーオン時にはノーマル再生になります。

  タイマーオン時の音量は、電源を切る直前の音量と同じになります。あらかじめ調整しておいてください。

- Recタイマーのときは、記録不可状態を解除したMDを本機にセットします。

  録音レベルの調整、レベルシンクのオン、オフの変更（☞37ページ）が必要なときはあらかじめ設定しておいてください。

9



電源を切る

「ENERGY SAVE」がスクロールし、表示部は消灯します。
エナジーセーブ状態でも設定時刻になるとタイマーが働きます。

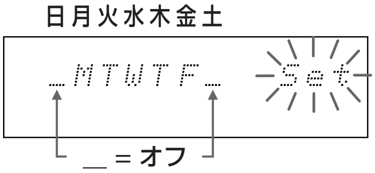
ご注意

電源が入っているとタイマーが作動しませんので、必ず電源を切ってください。

◆ Weekday、Weekend タイマーの曜日設定を変える

❶ **MULTI JOG ダイヤルを押す。**

曜日によるオン、オフの設定を確認してください。オン、オフの設定を変えなくていい場合はそのまま前ページの手順 **7** を行ってください。



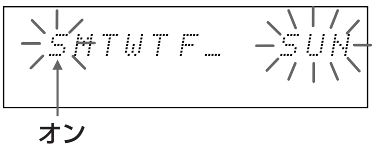
❷ **MULTI JOG ダイヤルを回して、変更する曜日を選ぶ。**



（ SUN=日、MON=月、TUE=火、WED=水、THU=木、FRI=金、SAT=土 ）

❸ **MULTI JOG ダイヤルを押して、選んだ曜日のオンオフの設定変更をする。**

押すたびに､交互にオンオフの設定が変わります。



❹ **他の曜日の設定変更をするときは、手順❷、❸ をくり返す。**

❺ **曜日の設定が終わったら、MULTI JOG ダイヤルを回して、「Set」を表示する。**



❻ **前ページの手順 7 へ戻る。**

◆ Rec タイマーの曜日設定と、録音先の選択をする

❶ **MULTI JOG ダイヤルを押す。**

「Once」または「Every」が点滅します。

❷ **MULTI JOGダイヤルを回して「Once」または「Every」を選ぶ。**

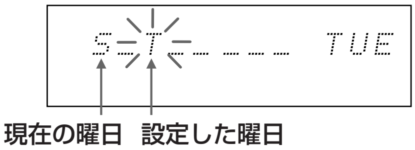
曜日設定モードになります。

● Once を選んだ場合

「Once」は設定した時間に一度だけタイマー録音を行います。Once 表示中に MULTI JOG ダイヤルを押すと、「NEXT」または曜日点滅表示になります。「NEXT」は曜日にかかわらず、設定した時間に一度だけタイマー録音ができます。

タイマー録音する曜日を設定する場合は MULTI JOG ダイヤルを回して、設定したい曜日を選択してください。

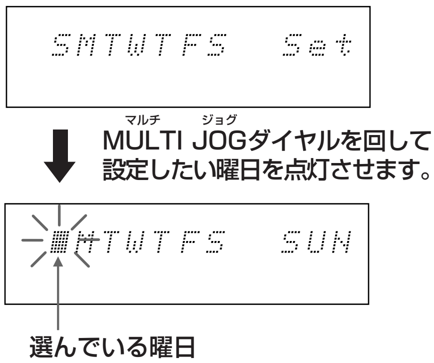
例）



設定が終ったら MULTI JOG ダイヤルを押します。

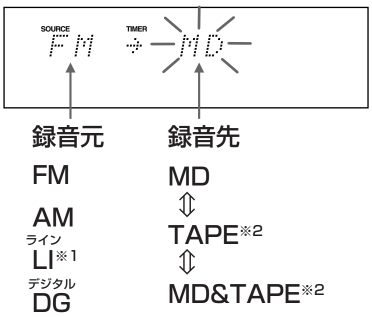
● Every を選んだ場合

「Every」は毎日同じ時刻に録音を行います。Every 表示中に MULTI JOG ダイヤルを押すと、下記の表示になります。（すべての曜日がオンの設定になっています。）



左項の手順 ❸ を参考に曜日のオン／オフの設定を変更してください。

❸ **MULTI JOG ダイヤルを押し、ダイヤルを回して録音先を選ぶ。**



※1 名称を変えるとその名称が表示されます。（☞ 55 ページ）

※2 TAPEは、別売のオンキヨー製カセットテープデッキをシステム接続したときのみはたらきます。（☞ 14ページ）MD&TAPEを選ぶと、本機MDとカセットテープデッキで同時録音することができます。

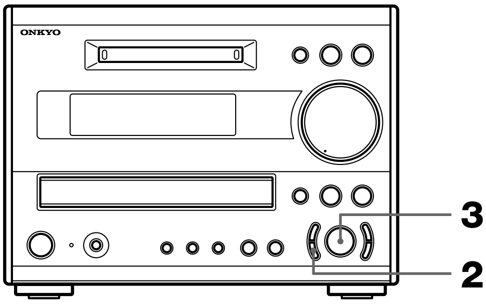
❹ **前ページの手順 7 へ戻る。**

いろいろな機能を使ってみる

タイマー機能を使う（つづき）

◆ Once、Weekday、Weekend、Rec 各タイマーをオン、オフする

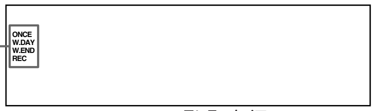
各タイマーの設定をしたあとでタイマーをオフにしたい、またオフにしたあとでオンにしたいときは以下のようにしてください。



1

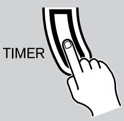
各タイマーのオン、オフ状態を確認する

オンになっているタイマーは点灯しています。

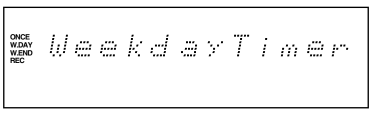


ONCE = Once Timer
W.DAY = WeekdayTimer
W.END = WeekendTimer
REC = Rec Timer

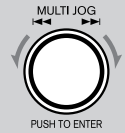
2



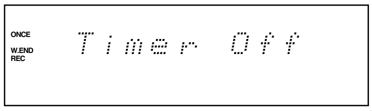
TIMER ボタンを（くり返し）押して、タイマーを選ぶ



3



MULTI JOG ダイヤルを回す



オンになっていたタイマーはオフになり、オフになっていたタイマーはオンになります。

ご注意

タイマーを再びオンにしたときは、必ず電源を切ってください。電源が入っているとタイマーがはたらきません。

◆ タイマーが重なったときは

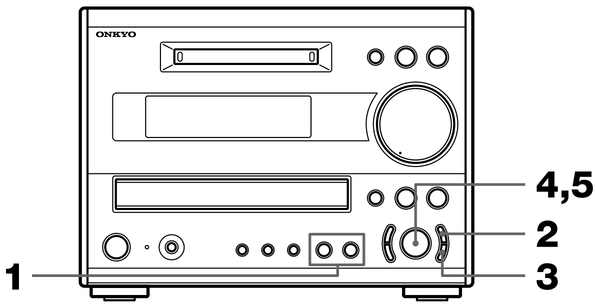
Once／Weekday／Weekend／Rec の２つ以上のタイマーが同じ開始時刻に設定されているときは
Once／Weekday／Weekend／Rec の順に優先されます。

他のタイマーの作動中に別のタイマーの開始時刻になったときは
先に作動したタイマーが優先され、重なったタイマーは終了時刻を含めて無効となります。先に作動するタイマーの終了時刻と後のタイマーの開始時刻には、必ず１分以上の間隔をあけてください。

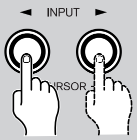
電源が入っていたり、他のタイマーと重なって作動しなかった Rec、Once タイマーは
自動的に予約が解除（オフ）されます。

外部入力機器の表示名称を変える

接続した外部機器（☞ 14、15ページ）に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。



1



INPUTボタンを(くり返し)押して、名称を変える外部入力を選ぶ

TAPE → LINE
↑　　　↓
CD-R ← DIGITAL

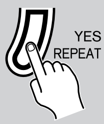
2



EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押して、「Name Select?」を表示する

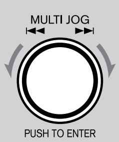
Name Select?

3



YES/REPEATボタンを押す

4



MULTI JOGダイヤルを回して名称を選ぶ
入力による名称選択

CD-R ⟺ DAT
⇕　　　⇕
PC ⇔ MD 2 ⇔ VIDEO

TAPE ⇔ DAT
⇕　　⇕
MD 2 ⇔ VIDEO

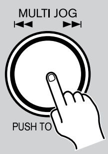
LINE⇔DVD⇔VIDEO DISC
⇕　　　　　⇕
T V ⇔ CS-PCM ⇔ C S ⇔ B S

DIGITAL ⟺ PC/dig ⟺ PC-RI/dig ⟺ CD-R/dig
⇕　　　　　　　　　　　　⇕
CS-PCM/dig ⇔ CS/dig ⇔ BS/dig ⇔ V.DISC/dig ⇔ DVD/dig

D VD

変更をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

5



MULTI JOGダイヤルを押して決定する

Complete

「Complete」が表示されます。
YES/REPEATボタンを押しても同じです。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は下の表で確認してください。

名称	省略名称
BS	BS
CD-R	CR
CS	CS
CS-PCM	CP
DAT	DT
DIGITAL	DG
DVD	DV
LINE	LI
MD2	M2
PC	PC
TAPE	TA
TV	TV
VIDEO	VI
VIDEO DISC	VD

FM ／ AM のプリセットチャンネルを編集する

削除とコピーの２つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

◆ プリセットチャンネル編集のヒント

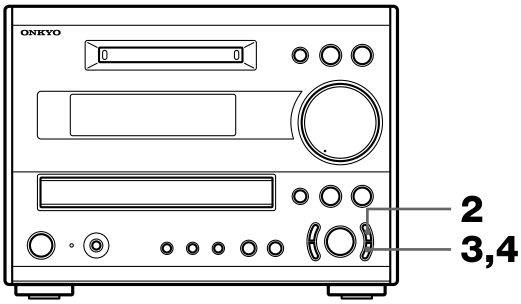
チャンネル番号を変更する

コピーと削除機能を使います。
例えば、FM で３チャンネルにオートプリセットされた放送局を８チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、

❶ ３チャンネルを８チャンネルにコピーする。
❷ ３チャンネルを削除する。

という手順で行うことができます。

◆ プリセットチャンネルを削除する



1

FM または AM の、削除するプリセットチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4CH

2



EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを（くり返し）押して、「Preset（プリセット） Erase?（イレーズ?）」を表示する

PresetErase?

3



YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

Erase OK? 4CH

削除をやめるときは、EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

4



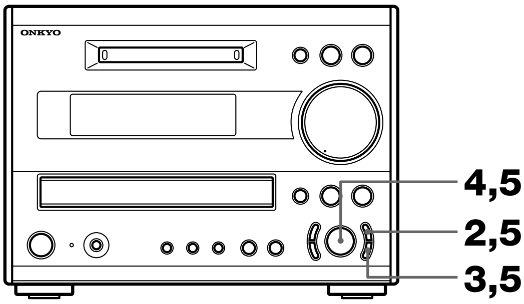
YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す

Complete

プリセットチャンネルが削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

◆ プリセットチャンネルをコピーする

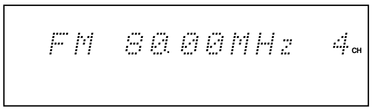
プリセットチャンネルをコピーすると、プリセットチャンネルにつけた名前（☞ 43 ページ）も同時にコピーされます。



1

FM または AM の、コピーするプリセットチャンネルを呼び出す

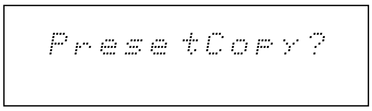
例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき



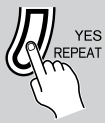
2



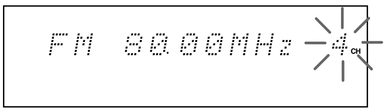
EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押して、「Preset Copy?」を表示する



3



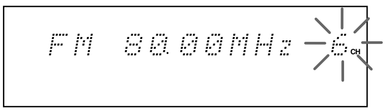
YES/REPEAT ボタンを押す



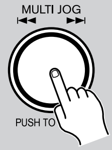
4



MULTI JOG ダイヤルを回してコピー先のプリセットチャンネルを選ぶ



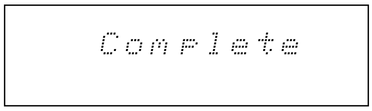
5



MULTI JOG ダイヤルを押す

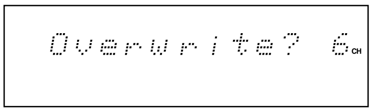
YES/REPEAT ボタンを押しても同じです。

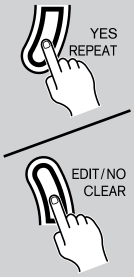
● 「Complete」（完了）と表示されたときは



放送局が指定のチャンネルにコピーされました。

● 「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは





選んだチャンネルは登録済みです。

○ すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、YES/REPEAT ボタンを押します。

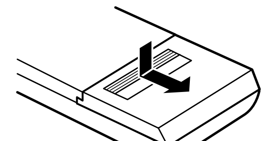
○ 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

別売の MD 専用リモコンを使う

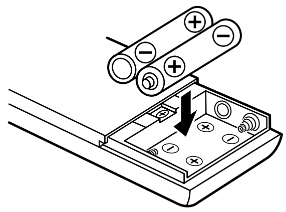
別売の MD 専用リモコン（RC-410MD、RC-339MD）を使って本機の MD を操作することができます。このリモコンで操作がより一層簡単になり、本体でしかできなかった機能やこのリモコン特有の機能操作が可能になります。（本書では「RC-410MD 」のイラストを使って説明しています。）

◆ 乾電池を入れる

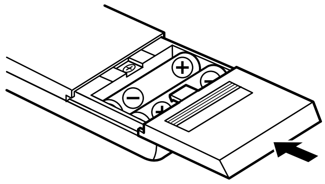
❶ カバーを矢印の方向に押し下げてはずす。



❷ 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる。



❸ カバーを戻す。



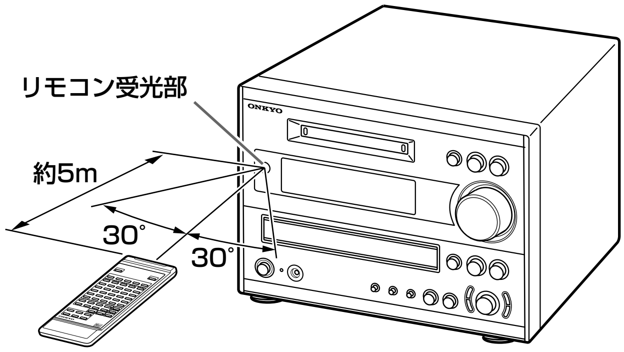
ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

◆ リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

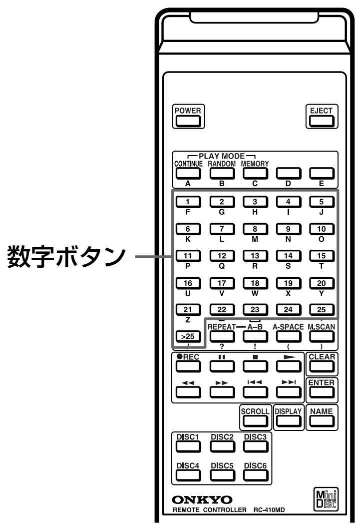
付属のリモコンと同じ名前やマークのボタンは同じはたらきをします。
（ただし、POWER ボタンおよび DISC1 ～ 6 ボタンははたらきません。）



ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

◆ 数字ボタンで曲番を選ぶ



数字ボタンの使いかた

［＞25］は 25 より大きい数であることを表し、［10］は 10 もしくは 0 を表します。

● **1 〜 25 曲目**は数字ボタンを 1 つ押します。

例） 曲番	押す数字ボタン
8	8
10	10
25	25

● **26 〜 99 曲目**は、以下の順に押します。

＞25 → 10 の位の数 → 1 の位の数

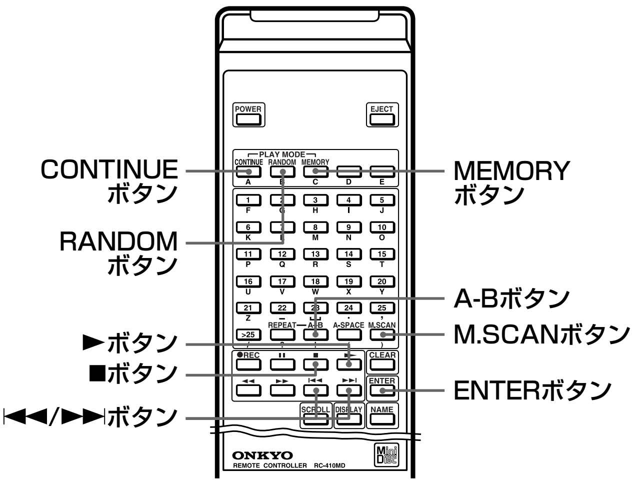
例） 曲番	押す数字ボタン
30	＞25 → 3 → 10
34	＞25 → 3 → 4

● **100 曲目以上**は、以下の順に押します。

＞25 → ＞25 → 100 の位の数 → 10 の位の数 → 1 の位の数

例） 曲番	押す数字ボタン
100	＞25 → ＞25 → 1 → 10 → 10
103	＞25 → ＞25 → 1 → 10 → 3

◆ いろいろな再生をする



A-B ボタンを使って 2 点間再生をする － A-B リピート

❶ MD の再生中に、くり返しの始め（A 点）で A-B ボタンを押す

❷ くり返しの終わり（B 点）で A-B ボタンを押す

A-B 間のくり返し再生が始まります。

くり返し再生をやめるには

● A-BボタンかREPEATボタンを押すとA-Bリピートはキャンセルされます。

● ■ボタンを押すと、A-Bリピートがキャンセルされ、再生が停止します。

M. SCAN ボタンを使って再生する － ミュージックスキャン

各曲の頭だけ 8 秒間ずつ MD の再生をします。

❶ MD の再生中、または停止中に M. SCAN ボタンを押す

表示部、MD の ► インジケーターが点滅し、ミュージックスキャンが始まります。

❷ 再生したい曲がみつかったら、M. SCANボタンまたは、►ボタンを押す

その曲から通常再生されます。

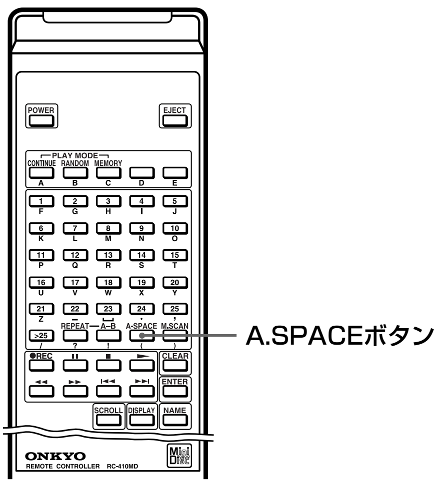
MD の RANDOM 再生／MEMORY 再生をする

RANDOM ボタン／ MEMORY ボタンを押します。

MEMORY 選曲では、数字ボタンの他に、I◄◄ ／ ►►I ボタンで曲を選び、ENTER ボタンで確定することもできます。

RANDOM、MEMORY 再生モードを解除するときは、MD 停止中に CONTINUE ボタンを押します。

◆ 曲間をつくる（オートスペース）



MD 再生時に、曲と曲の間に約 3 秒間の無音部をつくって再生することができます。

● **A.SPACE ボタンを押す**

現在の設定が表示されます（「A.Space On」または「A.Space Off」）。

「A.Space On」が選択されているとき、オートスペース機能がはたらきます。

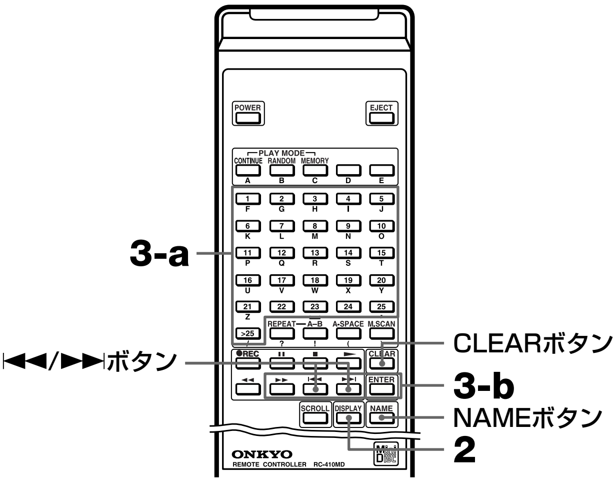
表示が点灯している間に A.Space ボタンを押すと、オン、オフが切り換わります。

➡ 次ページへ続く

別売の MD 専用リモコンを使う（つづき）

◆ 文字を入力する

リモコンで文字入力ができます。
文字の入力は **3-a** の直接入力と、**3-b** の選択入力の 2 つの方法があります。CD のディスク名、MD のディスク名や曲名、FM や AM のプリセットチャンネルの名前（☞ 43 ページ）、いずれも共通の操作で名前を入力することができます。



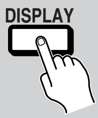
1

「文字を入力する」の手順 1、2（43 ページ）を本体で行う

！ヒント

MDにディスク名、曲名をつけているときは、リモコンのNAME（ネーム）ボタンを押してもできます。

2



DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。
希望する文字の種類が最初から表示されている場合はこの手順は不要です。

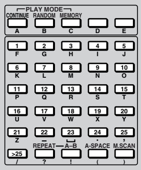
文字の種類の表示



→A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）
↓
♪（カンタンネーム）※

※ プリセットチャンネルのネーム入力時には表示されません。
☞ 「カンタンネームについて」（44 ページ）

3-a



文字ボタンを押して、ボタンに表記された文字を入力する

入力できる文字については、44 ページを参照してください。ボタンの表記にない記号は、**3-b** のやり方で入力してください。

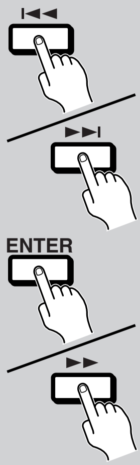
カタカナのとき

ボタンのアルファベットを組み合わせて入力します。（☞ 「アルファベットによるカタカナ入力」次ページ）

カンタンタイトル

内容は44ページの「カンタンネームについて」を参照してください。
カンタンネームは、1つのボタンによる直接入力はできません。**3-b**のやり方で入力してください。

3-b



⏮／⏭ボタンを押して、文字を選び、ENTER（エンター）ボタンまたは ⏩ ボタンを押して確定する

カンタンネームや、ボタンに表記されていない記号の入力はこの方法で入力してください。直接入力できる文字もこのやり方で入力できます。

入力を間違えたときは

☞ 「文字を訂正する／消去する」（次ページ）

文字の間に追加文字を入れるときは

☞ 「文字を挿入する」（次ページ）

4

3-a または 3-b をくり返して次の文字を入力する

途中で文字の種類を変えるときは、手順 **2** を行います。

5

入力が終わったら、本体の YES（イエス）/REPEAT（リピート）ボタンを押す。

「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

！ヒント

MDにディスク名、曲名をつけているときはリモコンのNAME（ネーム）ボタンを押してもできます。

◆ 文字を訂正する／消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 **1** を行ってください。

❶ ◀◀または▶▶ボタンを(くり返し)押して、訂正する文字を点滅させる。

❷ ● 訂正するときは「文字を入力する」（前ページ）の手順 **2**、**3-a** または **3-b** にしたがって正しい文字を入力する。

● 消去するときは、CLEAR（クリア）ボタンを押す。

◆ 文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 **1** を行ってください。

❶ ◀◀または▶▶ボタンを(くり返し)押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる。

❷ ▮◀◀または▶▶▮ボタンを(くり返し)押して、「M」を表示し、ENTER ボタンを押す。

❸「文字を入力する」の手順手順 **2**、**3-a** または 3-b にしたがって挿入する文字を入力する。

◆ アルファベットによるカタカナ入力

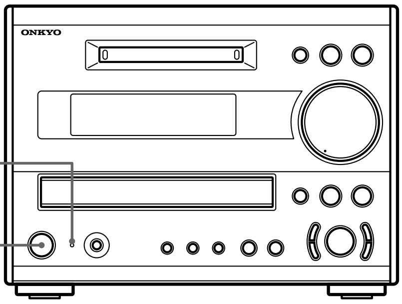
ア	ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O
カ	カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO
サ	サ SA	シ SI SHI	ス SU	セ SE	ソ SO
タ	タ TA	チ TI CHI	ツ TU TSU	テ TE	ト TO
ナ	ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO
ハ	ハ HA	ヒ HI	フ HU FU	ヘ HE	ホ HO
マ	マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO
ヤ	ヤ YA	イ YI	ユ YU	イェ YE	ヨ YO
ラ	ラ RA	リ RI	ル RU	レ RE	ロ RO
ワ	ワ WA	ウィ WI	ウ WU	ウェ WE	ヲ WO
ン※	NN ※ N に続いて子音（K、T、P、Z、J、D など）が続くと「ン」になります。	N			
ガ	ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO
ザ	ザ ZA	ジ ZI JI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO
ダ	ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO
バ	バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO
パ	パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO
ッ※	ッ LTU ※ 後ろに子音を２つ続けても入力できます。 【例】だった…DATTA	ッ XTU			
ァ	ァ LA XA	ィ LI XI	ゥ LU XU	ェ LE XE	ォ LO XO
ャ	ャ LYA XYA		ュ LYU XYU		ョ LYO XYO

2文字

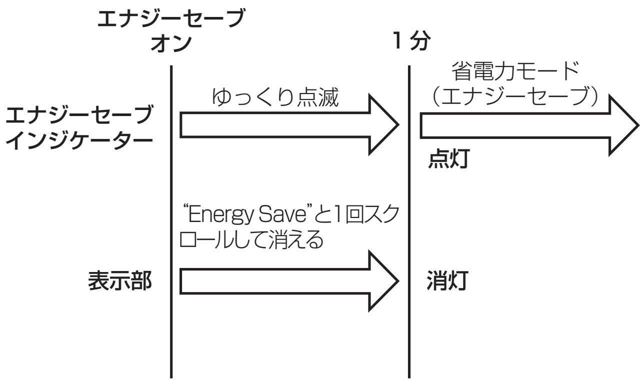
キャ	キャ KYA	キィ KYI	キュ KYU	キェ KYE	キョ KYO
シャ	シャ SYA SHA	シィ SYI	シュ SYU SHU	シェ SYE SHE	ショ SYO SHO
チャ	チャ TYA CYA CHA	チィ TYI CYI	チュ TYU CYU CHU	チェ TYE CYE CHE	チョ TYO CYO CHO
テャ	テャ THA	ティ THI	テュ THU	テェ THE	テョ THO
ニャ	ニャ NYA	ニィ NYI	ニュ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ヒャ	ヒャ HYA	ヒィ HYI	ヒュ HYU	ヒェ HYE	ヒョ HYO
ファ	ファ FA	フィ FI		フェ FE	フォ FO
フャ	フャ FYA	フィ FYI	フュ FYU	フェ FYE	フョ FYO
ミャ	ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
リャ	リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リェ RYE	リョ RYO
ギャ	ギャ GYA	ギィ GYI	ギュ GYU	ギェ GYE	ギョ GYO
ジャ	ジャ JYA ZYA JA	ジィ JYI ZYI	ジュ JYU ZYU JU	ジェ JYE ZYE JE	ジョ JYO ZYO JO
ヂャ	ヂャ DYA	ヂィ DYI	ヂュ DYU	ヂェ DYE	ヂョ DYO
デャ	デャ DHA	ディ DHI	デュ DHU	デェ DHE	デョ DHO
ビャ	ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
ピャ	ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴァ	ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO

エナジーセーブ機能について

スタンバイ時の消費電力をおさえる機能です。



本機の電源が入っているときに、STANDBY/ON ボタンを押すと、エナジーセーブインジケーターが点滅し、1 分後に省電力モード（エナジーセーブ）になります。



ご注意

- **省電力モード中に操作可能なボタンは、STANDBY/ONボタンのみです。**
- 省電力モード中に本機の電源コードを抜いた場合、再度電源コードを差し込むとスタンバイ状態に戻ります。
- 省電力モード時には、表示部及び時刻は消灯します。

メッセージ一覧

表示部に表示される主なメッセージについては、各操作手順で説明していますが使用状況によってはそれ以外の下記のメッセージが表示されることがあります。意味は下の表の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	デジタル入力録音できない状態になっている(「デジタル入力録音時のルールについて」、63ページ参照)。
Cannot Edit	再生専用ディスクで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用ディスクに録音しようとした。
Cannot Set	タイマー動作中にタイマー設定しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Disc Error	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、63ページ参照)。
D. In Unlock	デジタル入力に接続されていない。デジタル接続を確認してください。
Error	カナタイトル入力時にアルファベットをカナ変換できなかった。
Full	タイトル入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	ディスクへの書き込み中
Mecha Error	メカに異常が発生した。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。 または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Disc	ディスクが入っていない。
No Track	曲は入っていないが、ディスク名だけが付いているMDが入っている。
Over	ポーズ中(一時停止中)に早送りボタンを押してディスクの最後まで達した。
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。
Recording	録音中に入力を換えようとした。 録音中にできないCDやTUNERの操作をした。
Signal Wait	シグナルウエイト状態になった。
Sorry	つなぐことのできない曲をつなごうとした。曲のはじめでDivideしようとした。MDシステム制約上編集が不可能な操作をした。
Time Protect	CD倍速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD倍速ダビングしようとした。
TOC Error	ディスクの読み取りや書き込みに失敗した。

デジタル入力録音時のルールについて

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク(CD)またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、MDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のMDへ、「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したMDから、他のMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したMDから、他のMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。

MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3

DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル録音ができないことがあります。

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間（60分、74分、80分）に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
  MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  編集をひんぱんにくり返したディスクでは、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ることがあります。
- **MDへの録音のしかたによっては短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
- **曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**
- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**
- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。
  また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」表示が長く表示されます。

故障? と思ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（FR-X9）または（FR-X7）」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
アンプ部	● 電源が入らない。	● 電源プラグの差し込みが不完全になっている。	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	16
	● 音がでない。	● スピーカーコードのしん線部が他の端子や金属部に接触している。 ● 音量が最小になっている。 ● ミューティングが働いている。 ● ヘッドホンを接続している。 ● 接続コードの差し込みが不完全になっている。 ● プロセッサー端子にジャンパープラグが差し込まれていない。	● スピーカー端子の接続を点検してください。 ● 音量を調節してください。 ● リモコンのMUTINGボタンを押して解除してください。 ● 音量を下げてからヘッドホンをはずしてください。 ● 接続を点検してください。 プラグは奥までしっかりと差し込んでください。 ● ジャンパープラグを差し込んでください。 プラグは奥までしっかりと差し込んでください。	13 17 28 10 12〜15 15
	● 雑音が入る。	● テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けている。	● テレビなどの電源を切るか、本機から離して設置してください。	–
CD／MD	● 音とびする。	● 本機に振動が加わっている。 ● ディスクに大きな傷がある。 ● ディスクがひどく汚れている。－CD	● 振動のない場所に設置してください。 ● ディスクを取り替えてください。 ● ディスク表面をクリーニングしてください。	– 8 8
	● 曲をメモリーすることができない。	● ディスクが入っていない。 ● ディスクにない曲番をメモリーしようとしている。	● ディスクを入れてください。 ● ディスクにある曲番をメモリーしてください。	22、24 40
	● ディスクが入っているのに再生しない。	● ディスクの裏表が逆になっている。－CD ● ディスクがひどく汚れている。－CD ● ディスクが汚れている、または損傷している。（「Disc Error」表示が出る。）－MD ● なにも録音されていないディスクが入っている。－MD ● 結露している。 ● DVD、CD-ROMが入っている。－CD	● ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。 ● ディスク表面をクリーニングしてください。 ● 新しいディスクと取り替えてください。 すべての内容を消去して、ディスクを再利用できる場合もあります。 ● 録音されているディスクと取り替えてください。 ● ディスクを取り出して、数時間おいてください。 ● DVD、CD-ROMは再生できません。	22 8 8 45 24 65 8
CD	● 選曲時間（指定の曲をさがし出す時間）が極端に長い。	● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がある。	● ディスク表面をクリーニングしてください。 ● ディスクを取り替えてください。	8
MD	● ディスクが入らない。	● ディスクを逆向きに差し込もうとしている。	● ディスクの矢印の向きに合わせて差し込んでください。	24
	● 録音できない。	● ディスクが記録不可状態になっている。（「Protected」表示が出る。） ● 外部入力の録音の時、音源と正しく接続されていない。 ● アナログ入力時に録音レベルが小さすぎる。 ● 再生専用ディスクが入っている。（「Cannot Rec」表示が出る。） ● ディスクの残り時間がない。 ● オーディオ用光デジタルケーブルが接続されていない。（「D. In Unlock」表示が出る。） ● 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になった。 ● 「Retry Error」表示が出る。	● ディスクの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じます。 ● 接続を点検してください。プラグは奥までしっかりと差し込んでください。 ● 録音レベルを調節してください。 ● 録音用ディスクと取り替えてください。 ● 残り時間が十分ある録音用ディスクと取り替えるか、不要な曲を消してください。 ● オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。 ● それまでの録音の内容は消去されます。 ● いったんMDを取り出して、再度録音し直してください。	8 14, 15 35 8 46 14 31 31
	● ネーム入力ができない。	● ディスクが記録不可状態になっている。（「Protected」表示が出る。） ● 再生専用ディスクが入っている。（「Cannot Rec」表示が出る。）	● ディスクの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じます。 ● 録音用ディスクと取り替えてください	8 8
	● 上のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。			16

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
チューナー	● FMステレオ放送のとき、モノラル放送にくらべ、サーというノイズが出る。	● FMステレオ電波はモノラル電波に比べ、変調のしかたが異なるので放送局の電波の強さによってはノイズが少し出ます。	● モノラルで受信してください。	27
	● モノラル放送、ステレオ放送ともノイズが多い。	● アンテナの設置場所や向きが不適当。 ● 放送電波が弱い。	● アンテナの設置場所、高さ、方向を変えてみてください。 ● 室内アンテナなら屋外アンテナにしてください。 ● 素子数の多いアンテナに変えてみてください。（アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。）	26 12
	● FMステレオ放送で「STEREO」表示が点滅し、完全に点灯しない。	● アンテナの向きが不適当。 ● 放送電波が弱い。		
	● 音がひずんだり小さくなったりする。	● 電波が乱れている。 ● 近くを自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいる。		
	● ステレオ放送でノイズが多く、ときどき音が出なくなる。	● アンテナの設置場所や向きが不適当。 ● 放送電波が弱い。		
	● FMステレオ放送で音にひずみが多い。	● 近くにビルや山がある。［送信所からの電波（直接波）とビルや山に反射した電波（反射波）との干渉によりマルチパスひずみが生じている。］		
	● AM放送受信時、ノイズが入る。	● 電気器具がすぐそばにあり、電源が入っている。	● AM室内アンテナを電気器具から離してください。 ● 電気器具の電源を切ってください。	−
	● AM放送を録音時に規則的なノイズが入る。	● AM室内アンテナを本機のすぐそばに置いている。	● 本機からAM室内アンテナを離してください。	−
タイマー	● タイマーがはたらかなかった。	● 電源が入っていた。 ● タイマーの設定時刻が重なっていた。	● 電源が入っているとタイマーははたらきません。タイマーをセットするときは必ず電源を切ってください。 ● 重ならないようにタイマーをセットしてください。	52, 54 54
	● タイマー再生したが音がでなかった。	● 音量が最小になっていた。	● 適当な音量に調節しておいてください。	52
リモコン	● リモコン操作ができない。	● 電池が消耗している。 ● リモコン受光部と距離がありすぎる、角度が悪い。 ● リモコン受光部との間に障害物がある。 ● システム接続が不完全。	● 電池を交換してください。 ● リモコンの有効操作範囲を確認してください。 ● リモコンの操作場所をずらすか、障害物を取り除いてください。 ● 接続した機器の取扱説明書の接続項目も参照して確実に接続してください。	16, 58 14, 15

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害については保証対象になりませんので、大事な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、MDや、CD、部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDやCDを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

誤動作するときは

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒後に改めて電源プラグを入れてください。
それでも正常に動作しない場合は、MDの▲ボタンを5秒以上押してから通常の操作をしてください。ただし、この操作を行うとメモリー情報はすべて消去されてしまいますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

FR-X9

■ 一般仕様

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力(電気用品安全法技術基準)	55W
待機時電力	6.9W
省電力モード（エナジーセーブ)時	1.2W
クロック精度	月差± 30 秒（25℃）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	205 × 154 × 354mm
質量	5.7kg

■ アンプ部

実用最大出力	26W＋26W（EIAJ、4 Ω）
	22W＋22W（EIAJ、6 Ω）
定格出力	19W + 19W（4 Ω）
	16W + 16W（6 Ω）
	14W + 14W（8 Ω）
全高調波ひずみ率	0.4%（1kHz 定格出力時）
SN 比	100dB(LINE 、TAPE、CD-R)
周波数特性	10 ～ 100,000Hz ± 3dB
S.BASS	1：80Hz＋4.5dB
	2：100Hz＋9dB
	3：100Hz+9dB/10kHz+4dB

■ CD 部

形式	光学式（コンパクトディスク方式）
読み取り方式	非接触光学式
周波数特性	10Hz ～ 20kHz（± 3dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ MD 部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式
周波数特性	10Hz ～ 20kHz（± 3dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ チューナー部

受信周波数	FM　76.0 ～ 108.0MHz
	AM　522～1629kHz
感度（FM）	18.8dBf（2.4mV、75 Ω、SN 50dB）
SN 比（FM）	73dB（MONO）
	67dB (STEREO)
ステレオセパレーション（FM）	
	40dB（1kHz ）

■ リモコン RC-465S

方式	赤外線
信号到達距離	約 5m
使用電池	単 3 型（1.5V）乾電池 2 個

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

FR-X7

■ 一般仕様

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力(電気用品安全法技術基準)	48W
待機時電力	6.6W
省電力モード（エナジーセーブ)時	1.2W
クロック精度	月差± 30 秒（25℃）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	205 × 154 × 354mm
質量	5.3kg

■ アンプ部

実用最大出力	20W＋20W（EIAJ、4 Ω）
	17W＋17W（EIAJ、6 Ω）
定格出力	14W + 14W（4 Ω）
	12W + 12W（6 Ω）
	11W + 11W（8 Ω）
全高調波ひずみ率	0.4%（1kHz 定格出力時）
SN 比	100dB(LINE 、TAPE、CD-R)
周波数特性	10 ～ 100,000Hz ± 3dB
S.BASS	1：80Hz＋4.5dB
	2：100Hz＋9dB
	3：100Hz+9dB/10kHz+4dB

■ CD 部

形式	光学式（コンパクトディスク方式）
読み取り方式	非接触光学式
周波数特性	10Hz ～ 20kHz（± 3dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ MD 部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式
周波数特性	10Hz ～ 20kHz（± 3dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ チューナー部

受信周波数	FM　76.0 ～ 108.0MHz
	AM　522～1629kHz
感度（FM）	18.8dBf（2.4mV、75 Ω、SN 50dB）
SN 比（FM）	73dB（MONO）
	67dB (STEREO)
ステレオセパレーション（FM）	
	40dB（1kHz ）

■ リモコン RC-465S

方式	赤外線
信号到達距離	約 5m
使用電池	単 3 型（1.5V）乾電池 2 個

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊ e-mail：ホームシアター/オーディオ製品　→　customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→　mmcadmin@onkyo.co.jp ＊ TEL：ナビダイヤル0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊ FAX：072-831-8124 ＊〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ　→ http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ　→ http://www.e-onkyo.com

修理窓口　修理のご依頼は、取扱説明書の「故障かな？と思ったときは」または「故障？と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、下記へご相談ください。

パソコン用スピーカー以外のマルチメディア製品は、

マルチメディアサポートセンター	TEL.072-831-7305　FAX.072-831-8124 〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

ホームシアター/オーディオ製品とパソコン用スピーカーは、

北海道地区	
札幌サービスステーション	TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619 〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28　トーシン北28条ビル
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区	
仙台サービスステーション	TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330 〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル１Ｆ
茨城・栃木地区	
宇都宮サービスステーション	TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308 〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7
群馬・埼玉・新潟地区	
大宮サービスステーション	TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137 〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2　高安ビル１Ｆ
千葉・東京(23区)地区	
東京サービスセンター	TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124 〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3　ハマスエビル
東京(23区を除く)・山梨・長野地区	
八王子サービスステーション	TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312 〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地
神奈川地区	
横浜サービスステーション	TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603 〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5Ｆ
岐阜・静岡・愛知・三重地区	
名古屋サービスステーション	TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331 〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番
富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区	
大阪サービスセンター	TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604 〒552-0013　大阪市港区福崎2丁目1番地49号
鳥取・島根・岡山・広島・山口(下関を除く)地区	
広島サービスステーション	TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571 〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28
徳島・香川・愛媛・高知地区	
高松サービスステーション	TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672 〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F
山口(下関)・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区	
福岡サービスステーション	TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358 〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19　みなみビル202

2001年6月現在　お客様相談窓口、修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

F -1

修理について

◆ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

◆ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

◆ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

◆ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（FR-X9 または FR-X7）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

◆ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

◆ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低８年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

購入年月日： ＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

ご購入店名： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Tel.　　　　(　　　)

メモ：

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」に記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

SN 29343144B
Printed in Japan
G0203-3